

# 銀行ばなれと金融危機騒動の実相:『法人企業統計季報』個表を用いた検討結果の概要

前半

三輪芳朗

November 12, 2010

金融システム研究フォーラム  
CARF(東京大学経済学部)

# 内容

- 「法人企業統計季報」の有用性と重要性
- 低い「銀行依存度」とさらなる「銀行ばなれ」の進行
- 「金融機関の危機」と「金融危機」騒動
- 「金融危機」の実相

# 「法人企業統計季報」の有用性と重要性

- 有価証券報告書が利用可能な上場企業を除くと、利用可能な企業の財務データのほとんど唯一のコレクション。
- しかも、資本金1000万円以上の規模別に無作為に抽出された調査対象に関するものであり、回収率も高い。
- さらに、対象企業の決算期に左右されない、各時点の数字を収集している。
- 四半期である。
- こんなものがこれまで実質的にほとんど活用されてこなかった・・・ことは、いわば奇跡？ — —これこそ「埋蔵金」？ — —もっとも、誰もその価値を認識していない？
- — —今回の結果も、なかなか理解されない？

## たとえば、・・・

- 世界に冠たる中小企業政策大国であるにもかかわらず、中小企業(政策)の分析にこの統計が活用されたことがあったようには見えない。どうやって、政策の必要性と、有用性を主張できるのか？——貸し渋り対策？
- “Credit crunch”, “financial crisis”の実相を見るための基本情報が得られる。言われているような時期に、言われているようなshocksが資金の取り手に出現したか、出現の仕方にかなる差異があるか、どのように対応したか、などの点について考えるためには、四半期ごとの数字、その差額としての変化分が決定的に重要である。
- さらに、広く採用されている「通説」「通念」の大前提の妥当性の確認……。——低い「銀行依存度」とさらなる「銀行ばなれ」

# 銀行の位置づけ？

- 貯蓄の入り口としての存在感は圧倒的である(あった)としても、資金・資産はそこを通じて「市場」に流入して運用される。企業向け融資が資金運用の一環であり、企業の資金調達先の一環として銀行融資が選択される企業の資金調達が行われるとすると…。企業の側から見た銀行の位置づけは…？
- ー入り口ではなく、出口で見ることの重要性。ー従来用いられてきた資料・データは、入り口に注目し、入り口から見たもの。
- データが示す如く、銀行依存度は低く、さらに低下しつつある。この傾向は、小規模企業ほど強い…？
- 銀行を中心として金融・資本市場が動くのではなく…。ー天動説から地動説への発想の転換？

# Implications:

## 検討課題の選択と検討結果の意味

- Implicationsとは？
- たとえば、月に水があるかどうかを調べると・・・？——存在したら？——宇宙飛行士が帰るときのための水を持っていかなくてもよいかもしれない・・・だけ？
- 岩場にタコがいたら？
- サハラ砂漠の真ん中の岩場に狩をする人間の絵が発見されたら？
- ここでは、通常採用されている仮定と異なる重要な事実が発見されたら・・・。——とりわけ中小企業で顕著な「低い銀行依存度」とさらなる「銀行ばなれ」

低い「銀行依存度」とさらなる「銀行ばなれ」？  
——結論の先にあるもの……。これを想定して検  
討課題も選択・設定する……？

そうすると？

二重構造と中小企業向け「貸し渋り」？

Delegated monitoring? mainbank?

Relationship banking?

Zombie banks?

Zombie lending?

不良債権処理、その遅れの意味？

金融緩和の有効性？

DP, CIRJE-J-222の14～20頁を参照。

# Credit Crunch, financial crisis 対策？

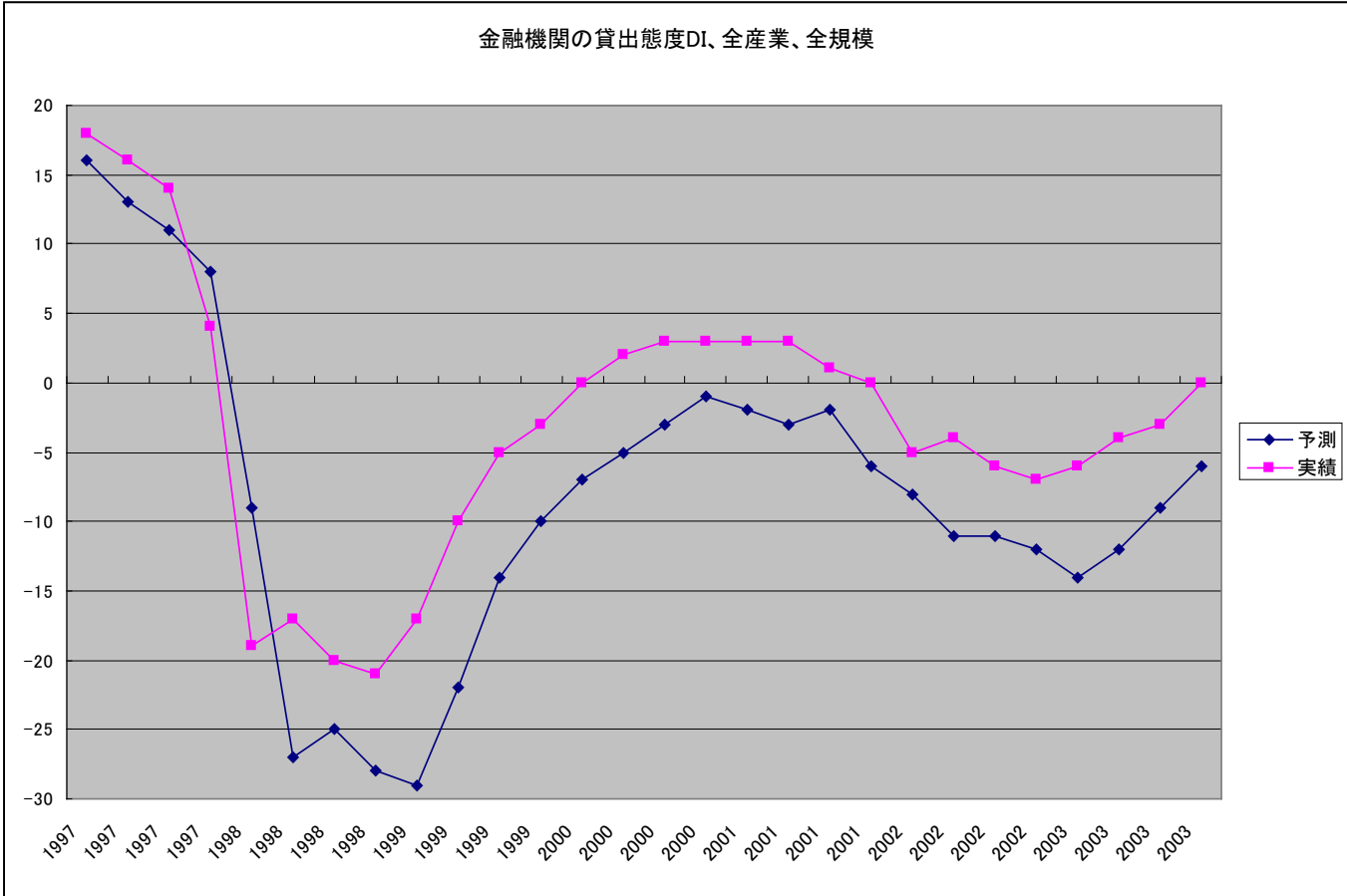
- 目的？手段？どこまで？何をするか？
- 資金の流れに対する関与？——二重構造、中小企業向け貸し渋り？——何をしたらよいのか？
- 「情報の非対称性」対策？——「非対称性」をなくす？どうやって？どこまで？
- 「金融危機」、「Credit Crunch」の時期に一挙に顕在化——この時期に深刻化し、対応策も一挙に拡大した？
- 何が拡大したか？本当か？証拠は？なぜ拡大するのか？——その後解消に向かったか？現在も？
- 金融機関の危機を市場は冷静に受け止め、受け入れる用意をしていた？（・・・それにもかかわらず・・・？）



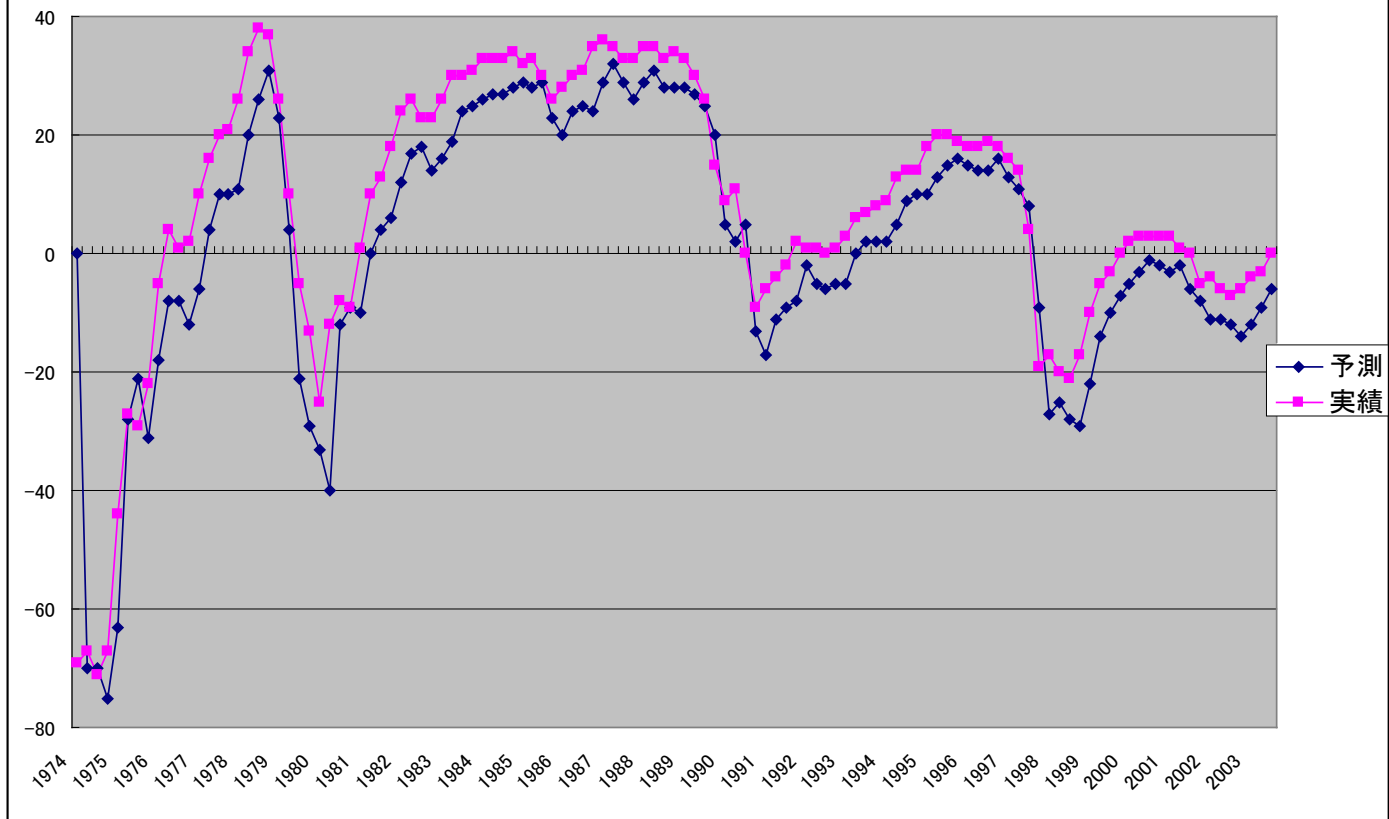
# 証拠？

- 中小企業が・・・というが、確たる証拠は？——法人企業統計の個表は用いられていない・・・？
- 日銀の短観：金融機関の貸出態度？——これはどこまで証拠能力があるか？情報としての価値？
- つくり方？
- 過去の「不景気」の時と比べて・・・？
- 
- ？？？
- 事後的に・・・？何があれば？

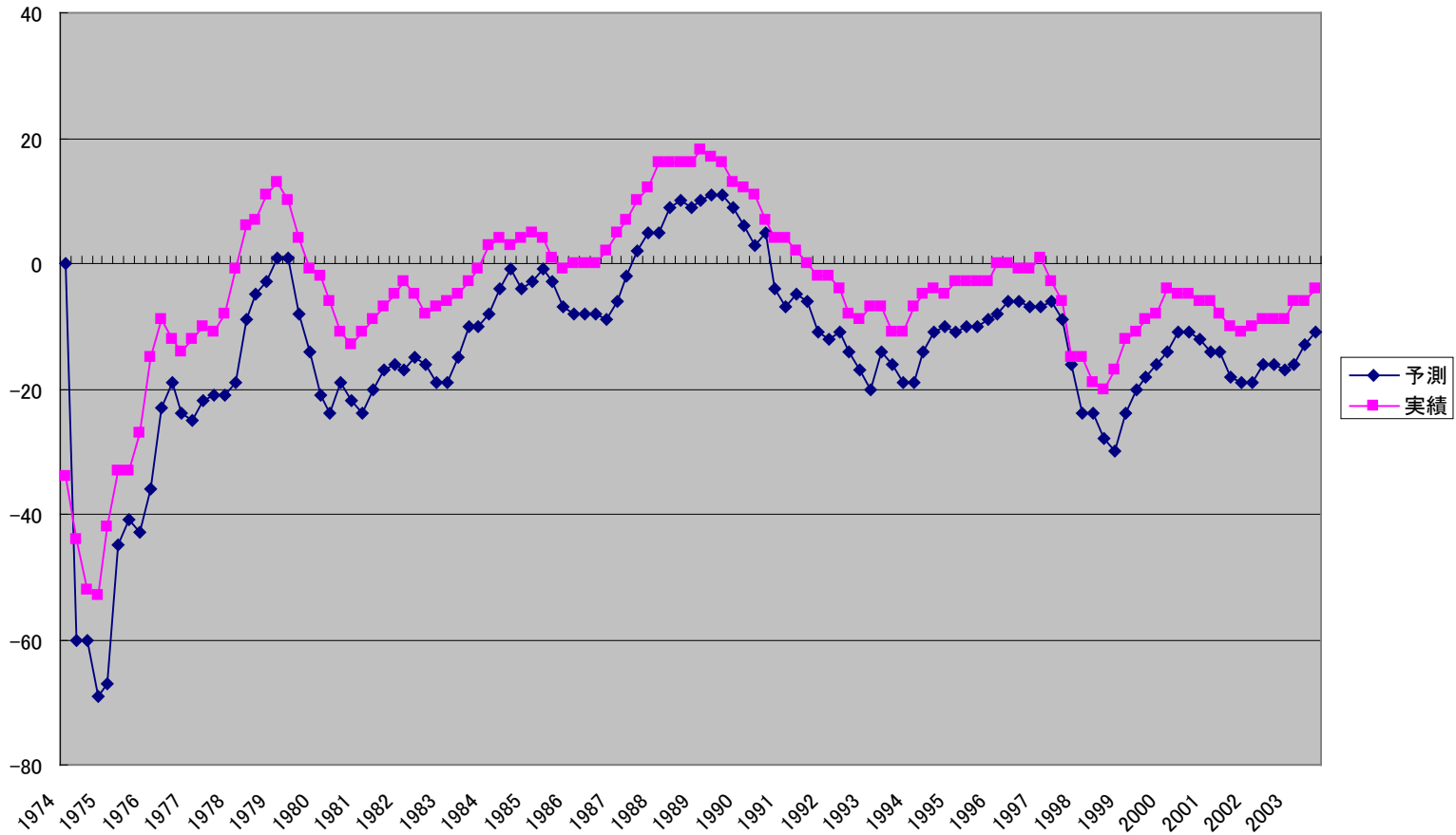
# 金融機関の貸出態度DI、全産業、全規模



金融機関の貸出態度DI、全産業、全規模



資金繰りDI、全産業、全規模



# “Credit Crunch”?--『法人企業統計季報』に見る1997-1999「金融危機」の実相

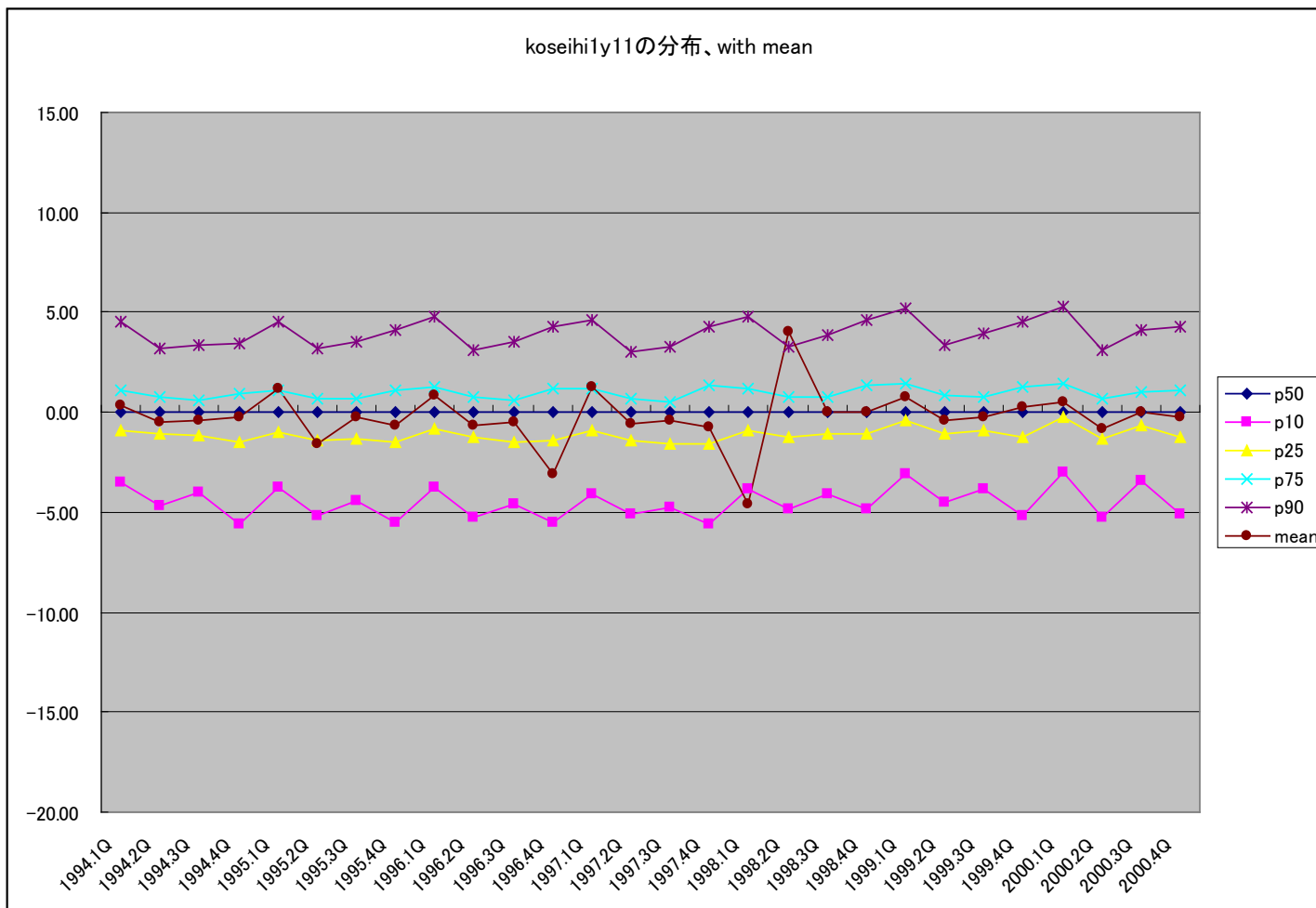
- これが第1段階
- CIRJE-J-202, August, 2008
- 1994~2000, 資本金規模6億円以上
- Focusが1997~1999
- 
- 今回のものが第2段階。(1)crunchが見られないことを前提に、再設計した。(2)検討対象を中小規模企業にも拡大した。(3)期間を2009年度第2四半期まで延長し、今回のfinancial crisisも検討対象に加えた。

# 「法人企業統計季報」の利用

- どうやって調べるか？
- 変化：たとえば、短期借入金変化額／総資産、これの分布、p.10, p.25, p.50, p.75, p.90の推移。
- これが、ショック時に移動？
- 規模別に差がある？ — 規模別に見る？
- そうでないなら、大企業が借りて、企業間信用で融通する？
- それなら、大企業で、売掛金が増加する？
- 債務超過企業での資金難が激化？ — 短期借入金が増加して、買掛金が増加？

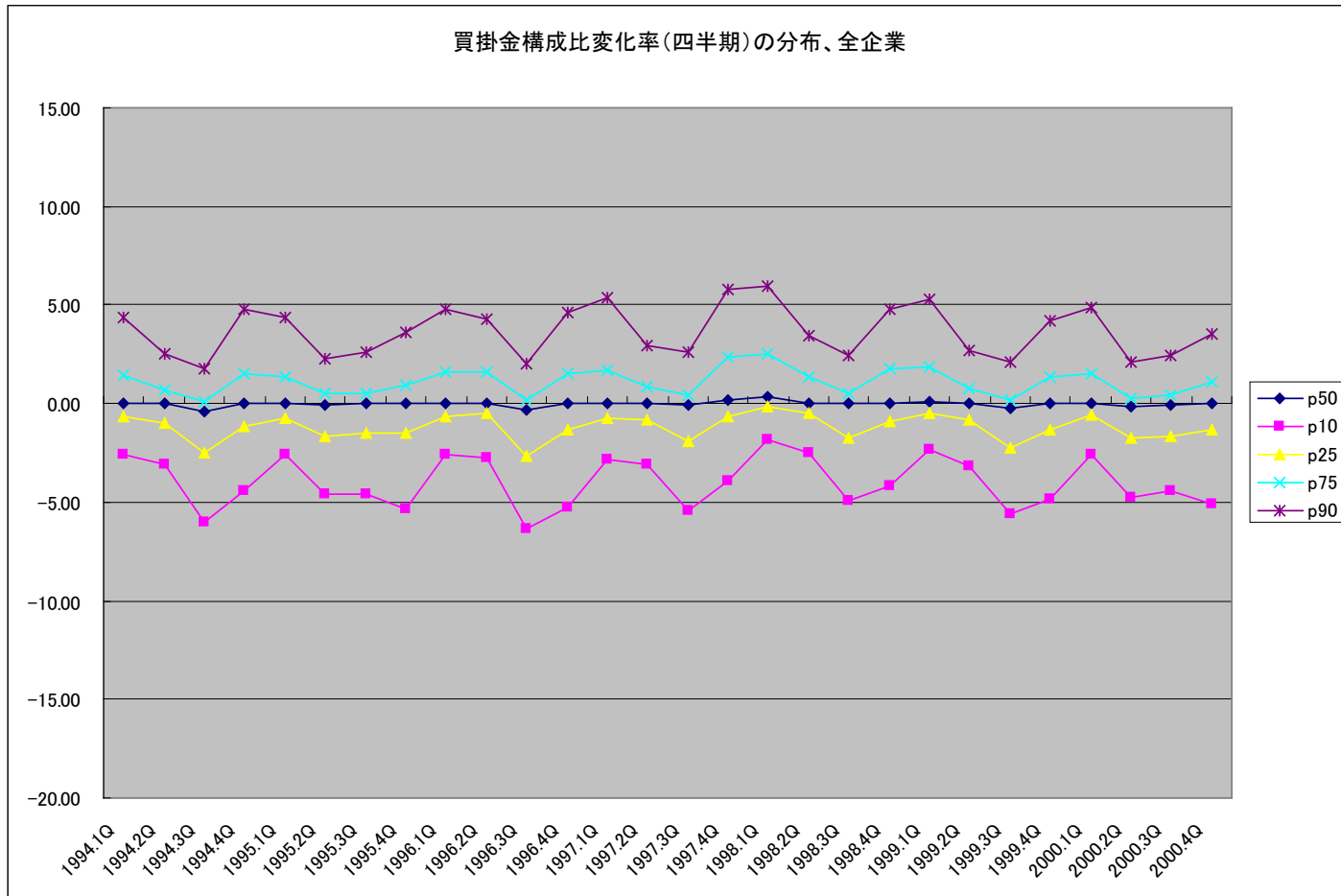
koseihily1

	N	mean	std. dev.	min	max	p50	p10	p25	p75	p90	p25+p75	p10+p90
1994.1Q	5744	0.32	6.97	-68.27	247.86	0.00	-3.52	-0.91	1.09	4.50	0.17	0.98
1994.2Q	5880	-0.45	6.50	-124.60	73.23	0.00	-4.68	-1.11	0.78	3.18	-0.33	-1.50
1994.3Q	5835	-0.41	11.33	-750.00	67.86	0.00	-4.02	-1.19	0.57	3.32	-0.62	-0.70
1994.4Q	5803	-0.23	29.68	-100.00	2200.00	0.00	-5.58	-1.48	0.91	3.47	-0.57	-2.11
1995.1Q	5965	1.21	77.93	-120.62	6000.00	0.00	-3.77	-0.98	1.08	4.56	0.10	0.79
1995.2Q	6068	-1.57	78.97	-6100.00	313.51	0.00	-5.19	-1.40	0.71	3.15	-0.70	-2.04
1995.3Q	6038	-0.26	8.14	-140.47	239.50	0.00	-4.43	-1.29	0.72	3.50	-0.57	-0.93
1995.4Q	6014	-0.64	16.22	-1100.00	144.15	0.00	-5.54	-1.46	1.14	4.16	-0.32	-1.38
1996.1Q	6175	0.86	47.83	-269.81	3703.85	0.00	-3.79	-0.84	1.27	4.80	0.43	1.01
1996.2Q	6288	-0.64	7.30	-195.78	97.12	0.00	-5.26	-1.28	0.73	3.10	-0.54	-2.17
1996.3Q	6232	-0.48	8.00	-287.10	190.79	0.00	-4.61	-1.49	0.60	3.53	-0.89	-1.08
1996.4Q	6198	-3.05	191.09	-15000.00	411.95	0.00	-5.55	-1.45	1.20	4.31	-0.24	-1.24
1997.1Q	6347	1.25	94.35	-130.20	7500.00	0.00	-4.06	-0.93	1.18	4.63	0.26	0.58
1997.2Q	6418	-0.54	8.38	-179.60	365.38	0.00	-5.08	-1.40	0.72	3.02	-0.69	-2.06
1997.3Q	6359	-0.40	6.82	-81.16	181.14	0.00	-4.76	-1.56	0.55	3.30	-1.00	-1.46
1997.4Q	6299	-0.71	24.09	-1739.15	375.25	0.00	-5.57	-1.56	1.36	4.26	-0.20	-1.31
1998.1Q	6412	-4.57	367.26	-29400.00	150.00	0.00	-3.87	-0.91	1.20	4.80	0.30	0.93
1998.2Q	6495	4.02	364.91	-375.00	29400.00	0.00	-4.86	-1.24	0.75	3.26	-0.48	-1.60
1998.3Q	6424	0.05	8.62	-217.98	286.25	0.00	-4.07	-1.10	0.81	3.88	-0.29	-0.18
1998.4Q	6348	-0.01	13.69	-360.18	691.01	0.00	-4.82	-1.10	1.39	4.63	0.29	-0.19
1999.1Q	6445	0.77	17.70	-212.28	1000.00	0.00	-3.12	-0.40	1.42	5.23	1.02	2.11
1999.2Q	6512	-0.39	16.44	-900.00	568.18	0.00	-4.52	-1.06	0.83	3.37	-0.22	-1.16
1999.3Q	6411	-0.27	14.73	-879.22	174.09	0.00	-3.82	-0.89	0.78	3.94	-0.10	0.11
1999.4Q	6337	0.25	33.93	-233.33	2400.00	0.00	-5.20	-1.24	1.26	4.56	0.02	-0.64
2000.1Q	6453	0.55	8.97	-255.67	144.64	0.00	-3.00	-0.25	1.43	5.25	1.18	2.25
2000.2Q	6561	-0.79	15.70	-1000.00	334.25	0.00	-5.22	-1.36	0.71	3.10	-0.66	-2.12
2000.3Q	6440	0.03	9.48	-428.21	65.58	0.00	-3.44	-0.65	1.02	4.09	0.37	0.65
2000.4Q	6352	-0.23	9.22	-198.98	250.00	0.00	-5.12	-1.27	1.09	4.27	-0.18	-0.85
AVERAGE T	6245	-0.23	53.72	-2173.13	2056.27	0.00	-4.52	-1.14	0.98	3.97	-0.16	-0.55
AVERAGE 1	6104	-0.36	38.98	-1649.17	1381.97	0.00	-4.71	-1.27	0.91	3.80	-0.36	-0.91
AVERAGE 2	6433	-0.05	73.39	-2871.74	2955.33	0.00	-4.26	-0.95	1.06	4.20	0.10	-0.06

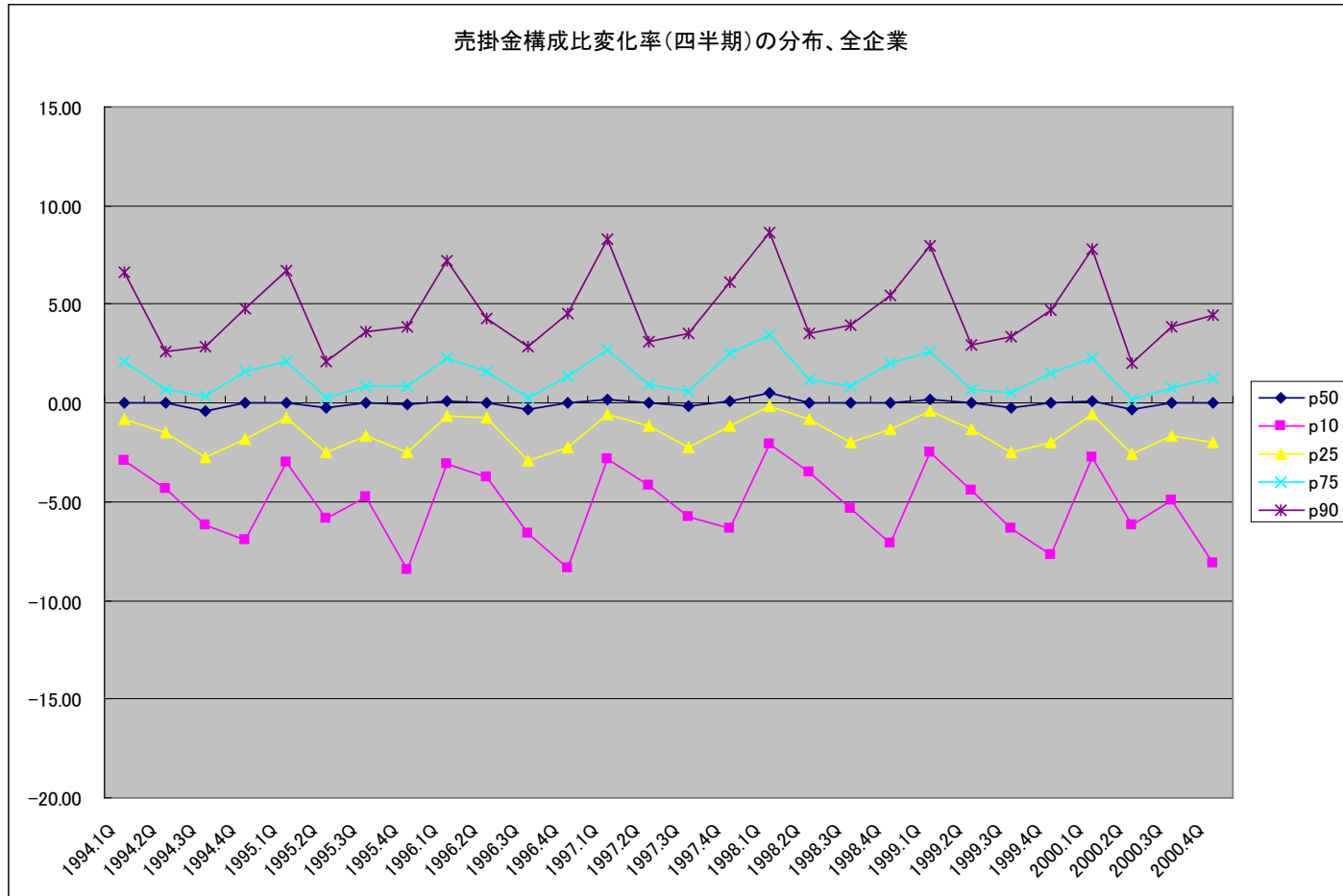




# 買掛金、全産業、四半期、p.74



# 売掛金、全産業、四半期、p.84



# 累年比較

## 1. 資産・負債及び純資産の状況

### 全産業

#### (資産)

区分	流動資産						
	現金・預金	受取手形	売掛金	有価証券	棚卸資産	その他	計
平成11年度…	10.5	3.5	13.9	2.4	9.0	6.4	45.8
12………	10.8	3.6	14.6	1.5	8.5	7.0	45.9
13………	10.5	3.5	13.9	1.1	8.4	6.7	44.1
14………	10.8	2.9	13.7	1.1	8.1	7.2	43.9
15………	10.5	2.6	14.2	0.9	7.8	7.6	43.6
16………	10.7	2.6	14.4	1.2	7.7	7.3	43.9
17………	10.4	2.3	15.0	1.0	8.0	7.6	44.3
18………	10.6	2.4	15.0	1.1	8.1	7.6	44.9
19………	10.0	2.2	15.9	1.4	9.1	7.8	46.4
20………	10.2	2.0	12.8	1.7	8.2	8.8	43.9
Average	10.5	2.8	14.5	1.3	8.3	7.3	44.8

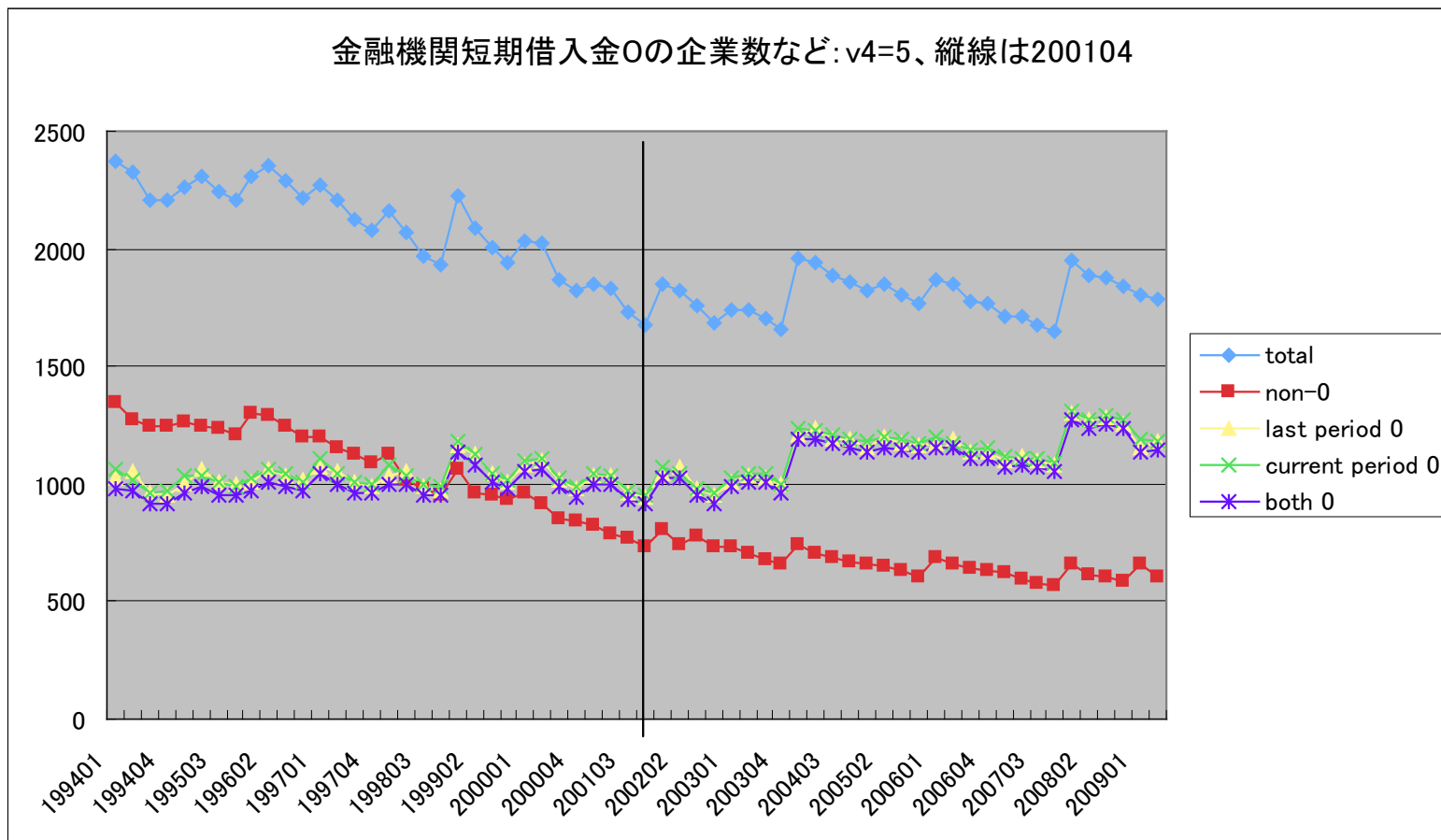
# 1. 資産・負債及び純資産の状況（続）

## 全 産 業

### （負債及び純資産）

区 分	流 動 負 債						固 定 負 債				
	支 払 手 形	買 掛 金	短期借入金	引 当 金	そ の 他	計	社 債	長期借入金	引 当 金	そ の 他	計
平成11年度…	4.6	9.6	16.9	0.6	10.0	41.6	4.5	23.5	2.5	5.5	36.0
12……………	4.8	10.4	15.2	0.6	10.6	41.6	4.2	21.7	2.8	4.0	32.7
13……………	4.3	9.8	16.1	0.6	10.2	41.0	4.2	22.0	3.1	4.5	33.8
14……………	3.9	9.9	15.2	0.6	9.9	39.4	4.1	21.9	3.0	4.2	33.2
15……………	3.6	10.5	14.3	0.6	10.1	39.0	4.2	20.8	3.0	4.7	32.7
16……………	3.4	10.6	13.6	0.6	10.0	38.1	4.0	20.7	2.8	4.6	32.1
17……………	3.0	11.2	13.4	0.6	11.1	39.2	3.8	18.6	2.7	5.6	30.7
18……………	3.1	11.2	11.7	0.6	10.6	37.2	3.7	18.8	2.8	4.8	30.0
19……………	2.9	11.8	12.0	0.7	10.9	38.2	3.8	18.2	2.5	3.8	28.3
20……………	2.4	8.9	12.4	0.6	10.3	34.5	3.8	21.0	2.4	4.3	31.6
Average	3.7	10.6	14.3	0.6	10.4	39.5	4.0	20.7	2.8	4.6	32.2

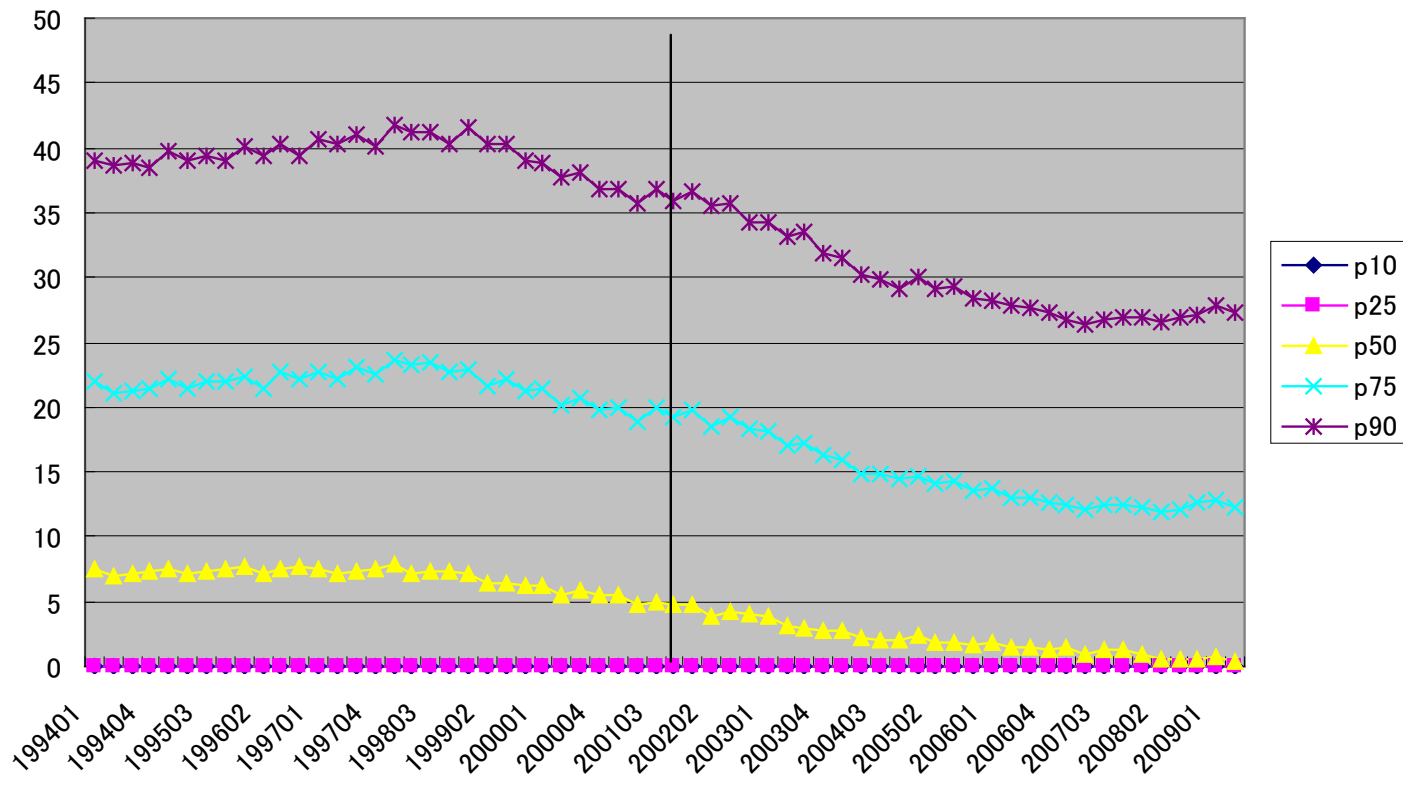
# ここから、今回のもの： 短期借入金残高が0の企業の多さに驚かされた



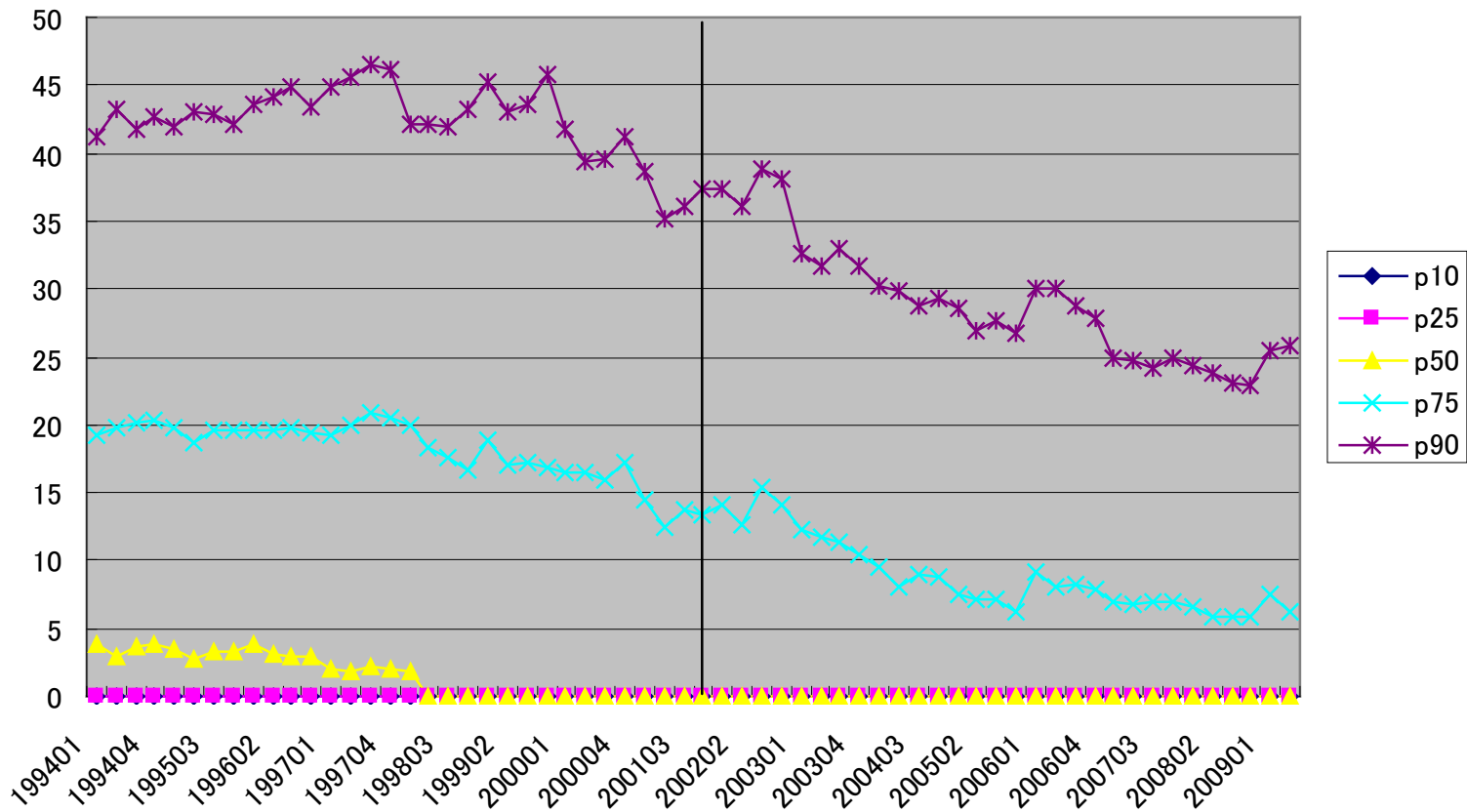
金融機関短期借入金残高が期首・期末のいずれでも0の企業、および短期借入金残高の変化率が0の企業の比率  
 全産業、規模別、前半期と後半期の水準の平均値およびその変化幅(%)

	全規模			v4=5			v4=6		
	nochange/T	0-0/T	0-0/nochange	nochange/T	0-0/T	0-0/nochange	nochange/T	0-0/T	0-0/nochange
Average 1	41.4	30.7	74.1	62.2	47.3	75.9	48.7	36.2	74.2
Average 2	53.1	42.4	79.8	75.0	61.5	82.0	60.4	47.7	78.9
Average T	47.1	36.4	76.8	68.4	54.2	78.9	54.4	41.8	76.5
Av.1 - Av.2	-11.7	-11.8	-5.8	-12.8	-14.2	-6.1	-11.7	-11.5	-4.7
	v4=7			v4=8			v4=9		
	nochange/T	0-0/T	0-0/nochange	nochange/T	0-0/T	0-0/nochange	nochange/T	0-0/T	0-0/nochange
Average 1	43.9	32.8	74.8	39.9	29.8	74.7	30.7	21.7	70.8
Average 2	56.1	44.7	79.7	52.2	42.7	81.7	42.3	32.0	75.7
Average T	49.8	38.6	77.2	45.9	36.1	78.1	36.3	26.7	73.2
Av.1 - Av.2	-12.2	-11.9	-4.9	-12.4	-12.9	-7.0	-11.6	-10.3	-5.0

short-term loan share (level), all industries, all size, vertical line=200104

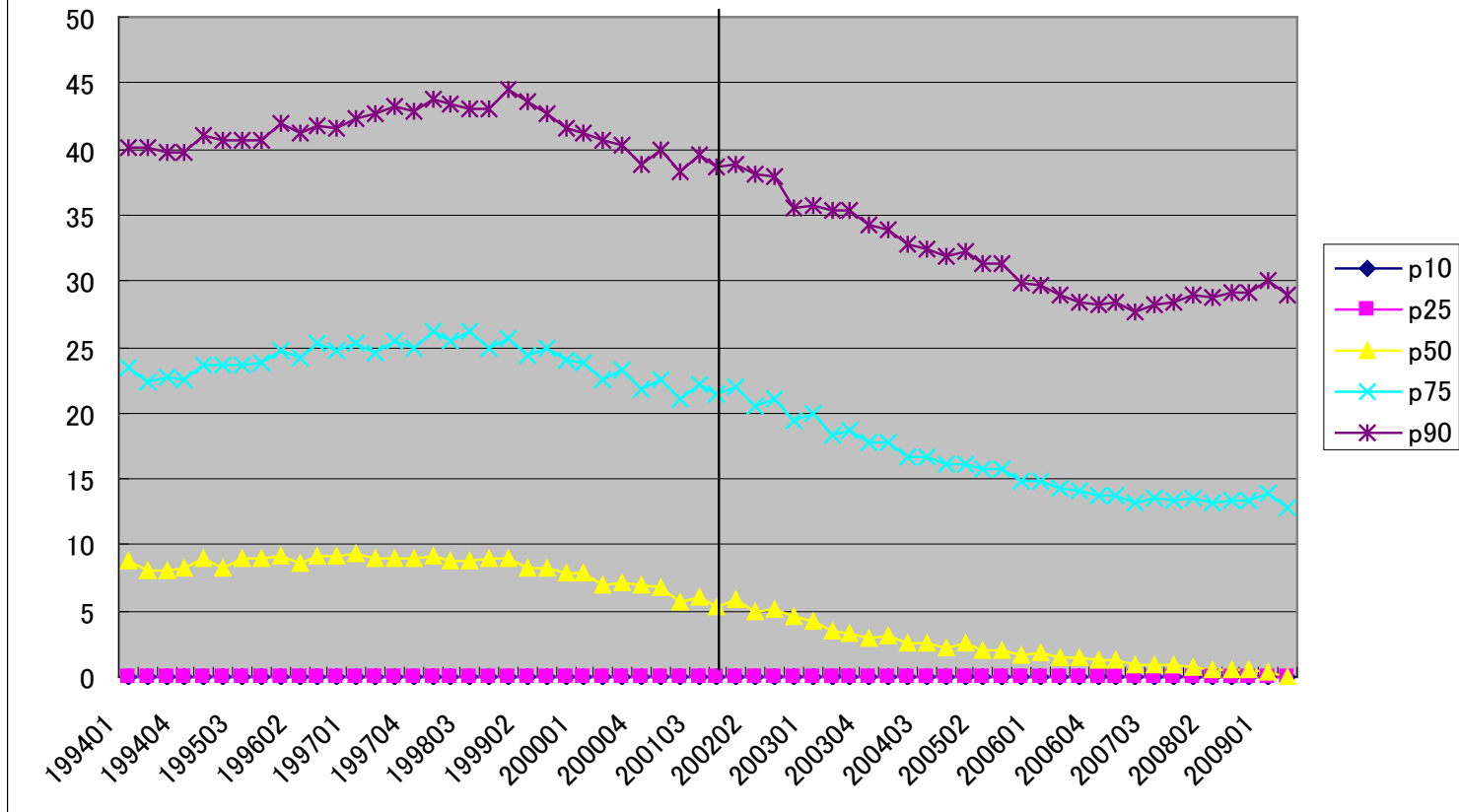


short-term loan share(level), all industries, v4=5, vertical line=200104





short-term loan share (level), all industries, v4=8, vertical line=200104









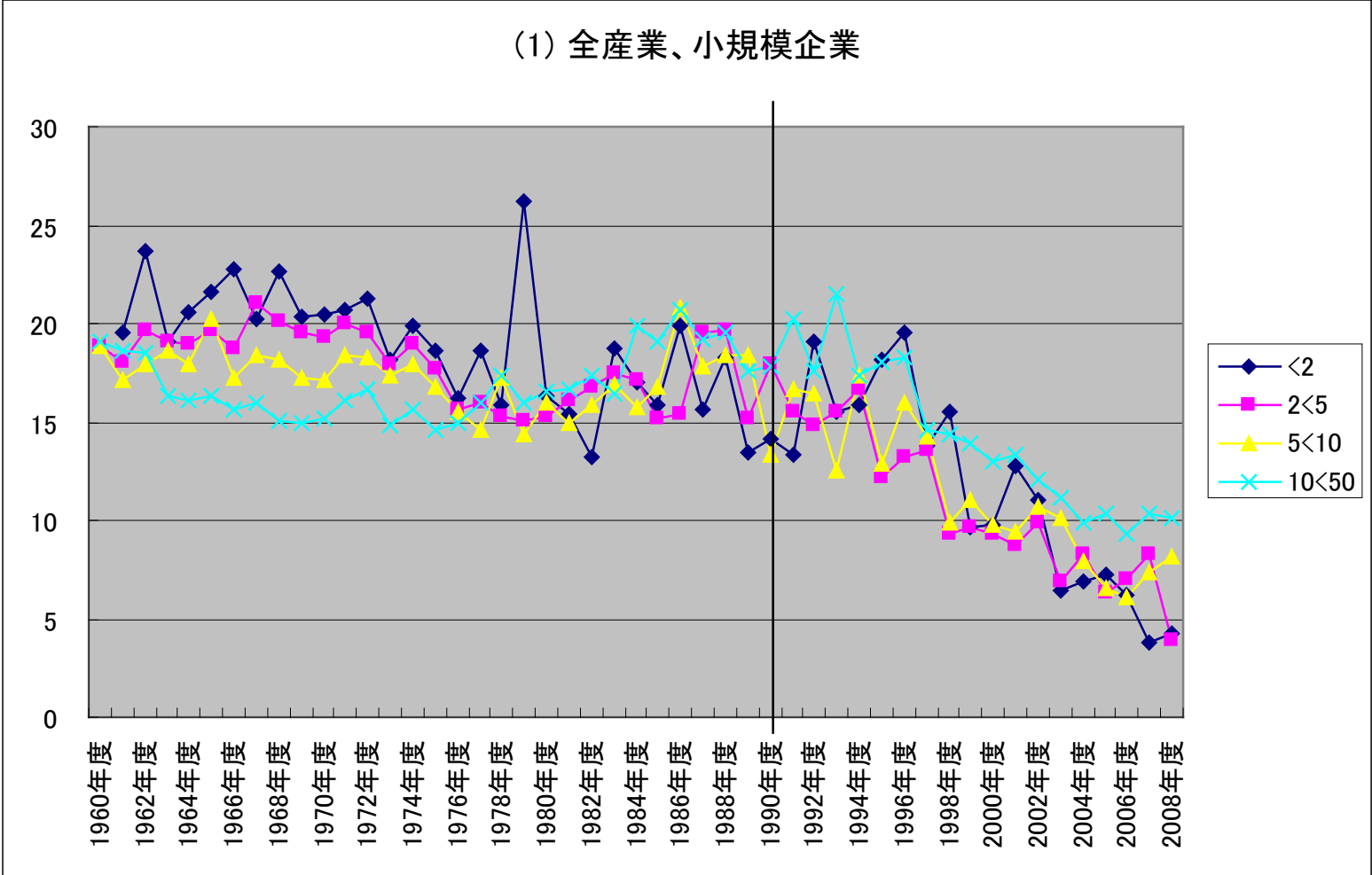


金融機関短期借入金純依存度の分布:全産業、規模別 (対総資産、%)

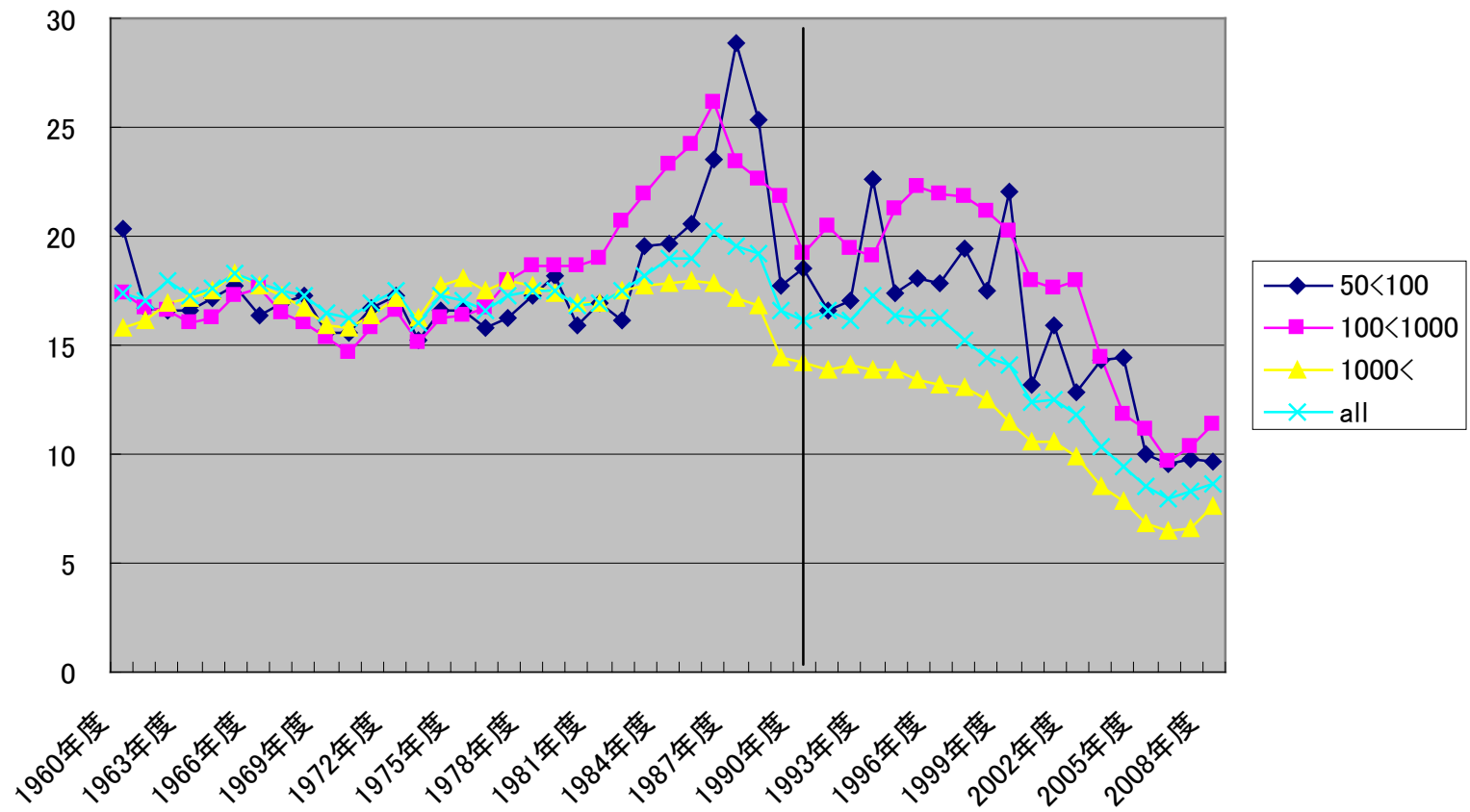
		p10	p25	p50	p75	p90
全規模	Average 1	-27.45	-11.49	-0.98	12.34	30.39
	Average 2	-34.02	-15.55	-3.05	5.56	21.51
	Average T	-30.63	-13.45	-1.99	9.06	26.09
	Av.1 - Av.2	6.57	4.06	2.07	6.77	8.89
v4=5	Average 1	-43.28	-23.32	-7.93	2.64	25.83
	Average 2	-49.31	-27.45	-9.97	-0.40	15.10
	Average T	-46.20	-25.32	-8.92	1.17	20.63
	Av.1 - Av.2	6.02	4.13	2.03	3.04	10.73
v4=6	Average 1	-36.16	-18.74	-5.40	5.74	24.68
	Average 2	-43.33	-23.52	-8.14	1.19	17.89
	Average T	-39.63	-21.05	-6.72	3.54	21.39
	Av.1 - Av.2	7.17	4.79	2.73	4.55	6.78
v4=7	Average 1	-29.09	-13.36	-2.54	9.08	27.27
	Average 2	-35.81	-17.73	-4.73	3.60	21.02
	Average T	-32.34	-15.48	-3.60	6.43	24.24
	Av.1 - Av.2	6.71	4.37	2.19	5.48	6.25
v4=8	Average 1	-23.39	-8.65	0.00	15.34	33.58
	Average 2	-32.82	-14.25	-2.29	6.75	23.86
	Average T	-27.95	-11.36	-1.11	11.18	28.88
	Av.1 - Av.2	9.42	5.60	2.30	8.59	9.73
v4=9	Average 1	-18.98	-7.24	0.72	14.02	29.55
	Average 2	-22.21	-9.43	-0.79	8.12	20.89
	Average T	-20.54	-8.30	-0.01	11.16	25.36
	Av.1 - Av.2	3.23	2.18	1.51	5.90	8.66

# 短期借入金

(1) 全産業、小規模企業

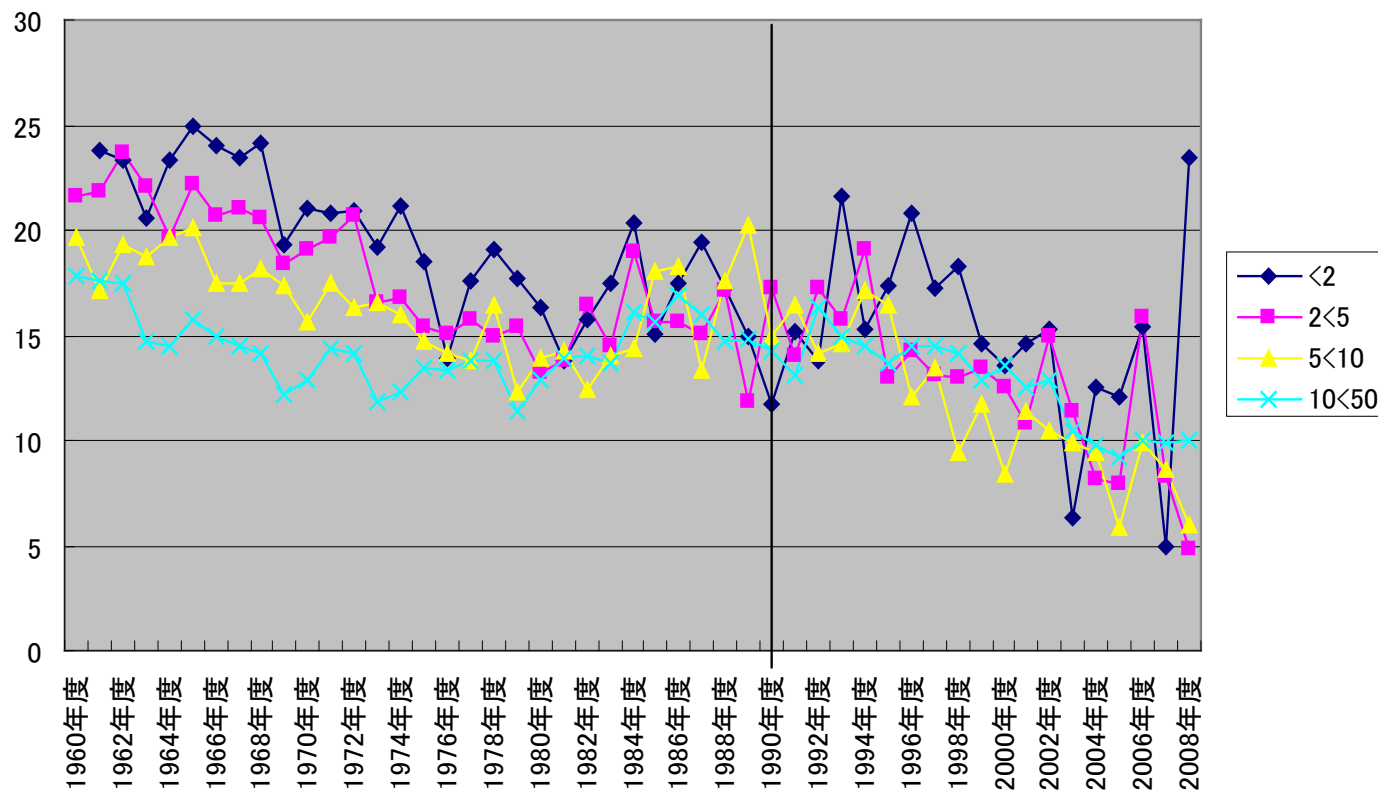


## (2) 全産業、大規模企業

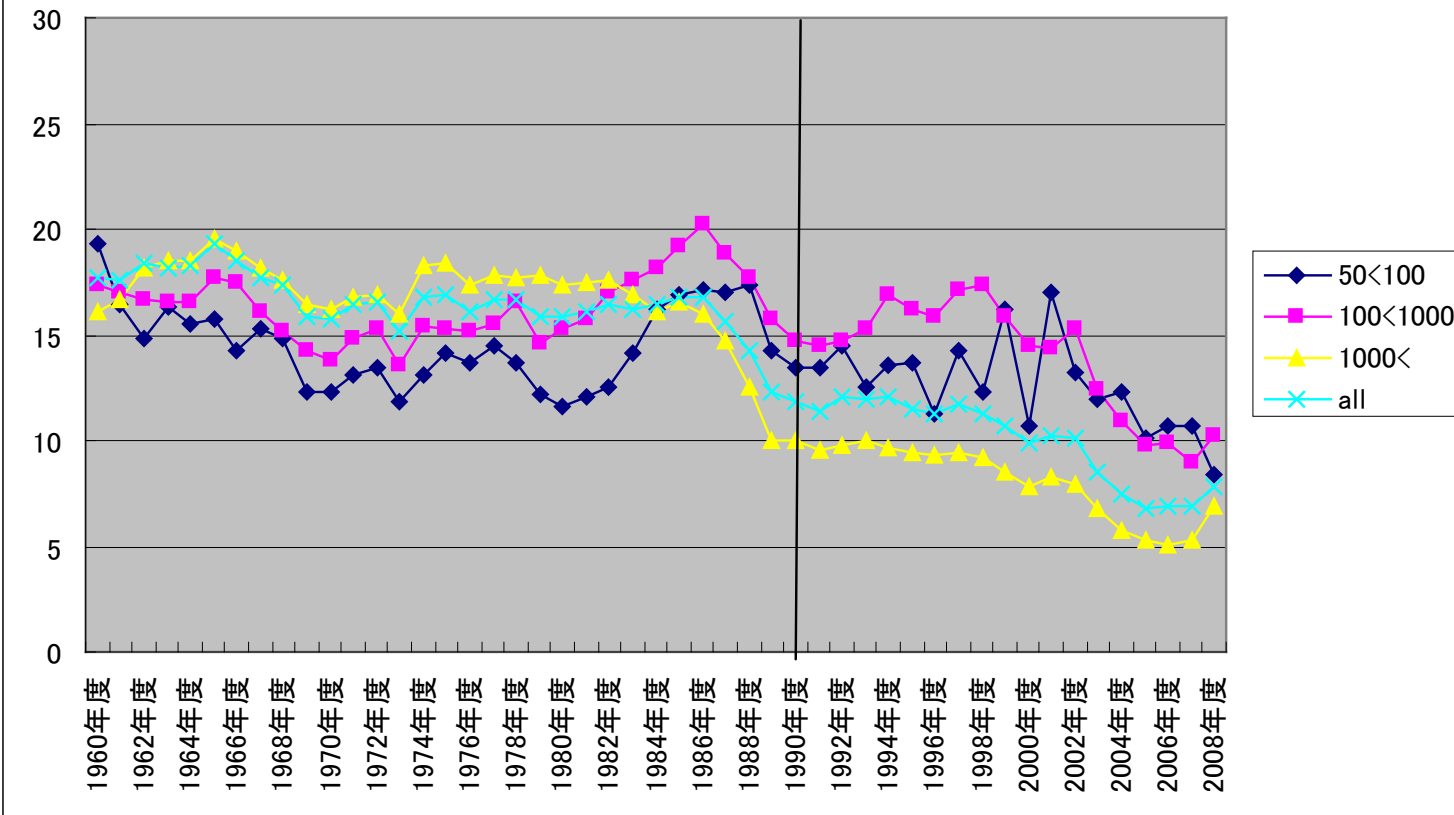




### (3) 製造業、小規模企業

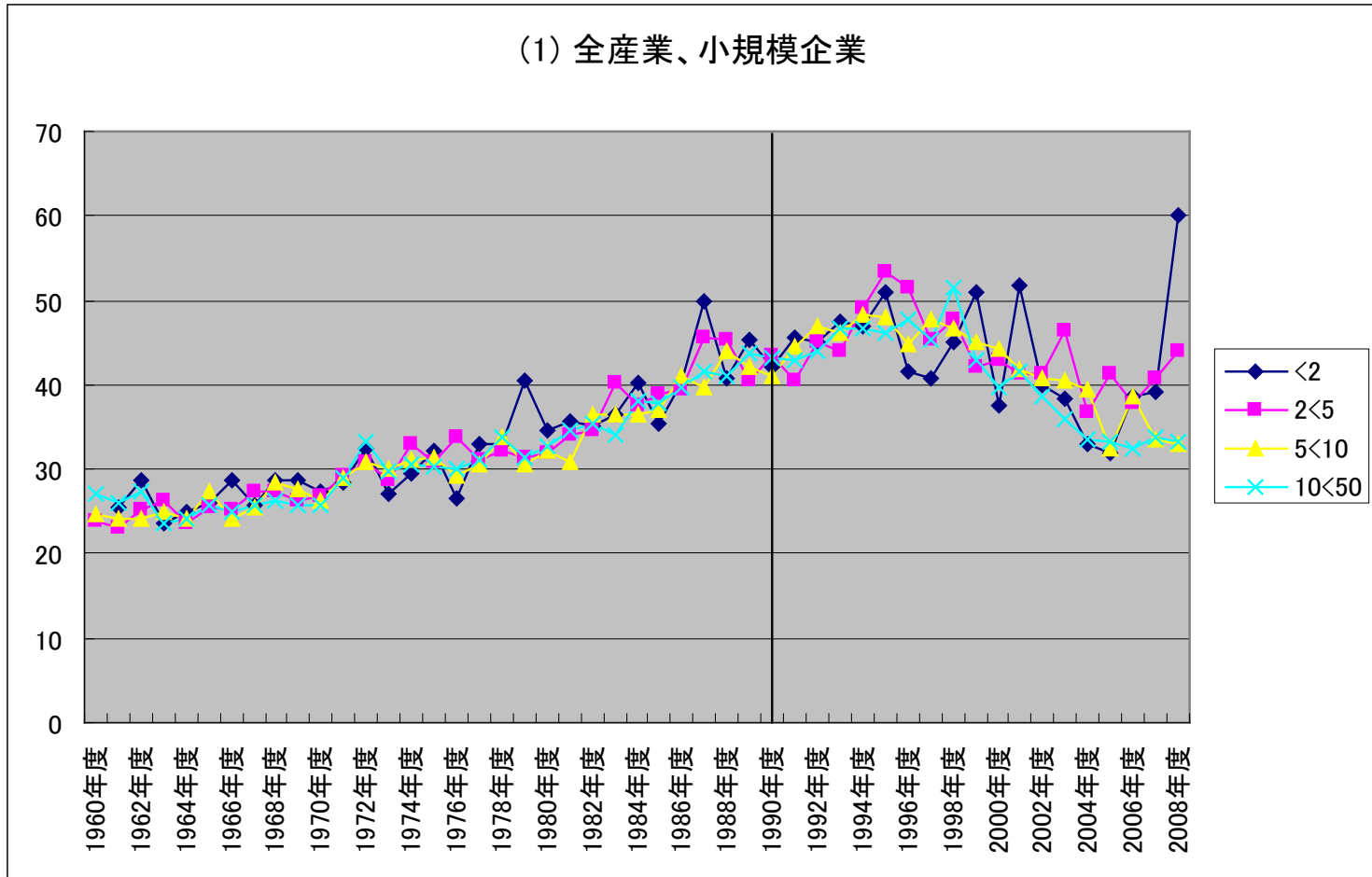


#### (4) 製造業、大規模企業

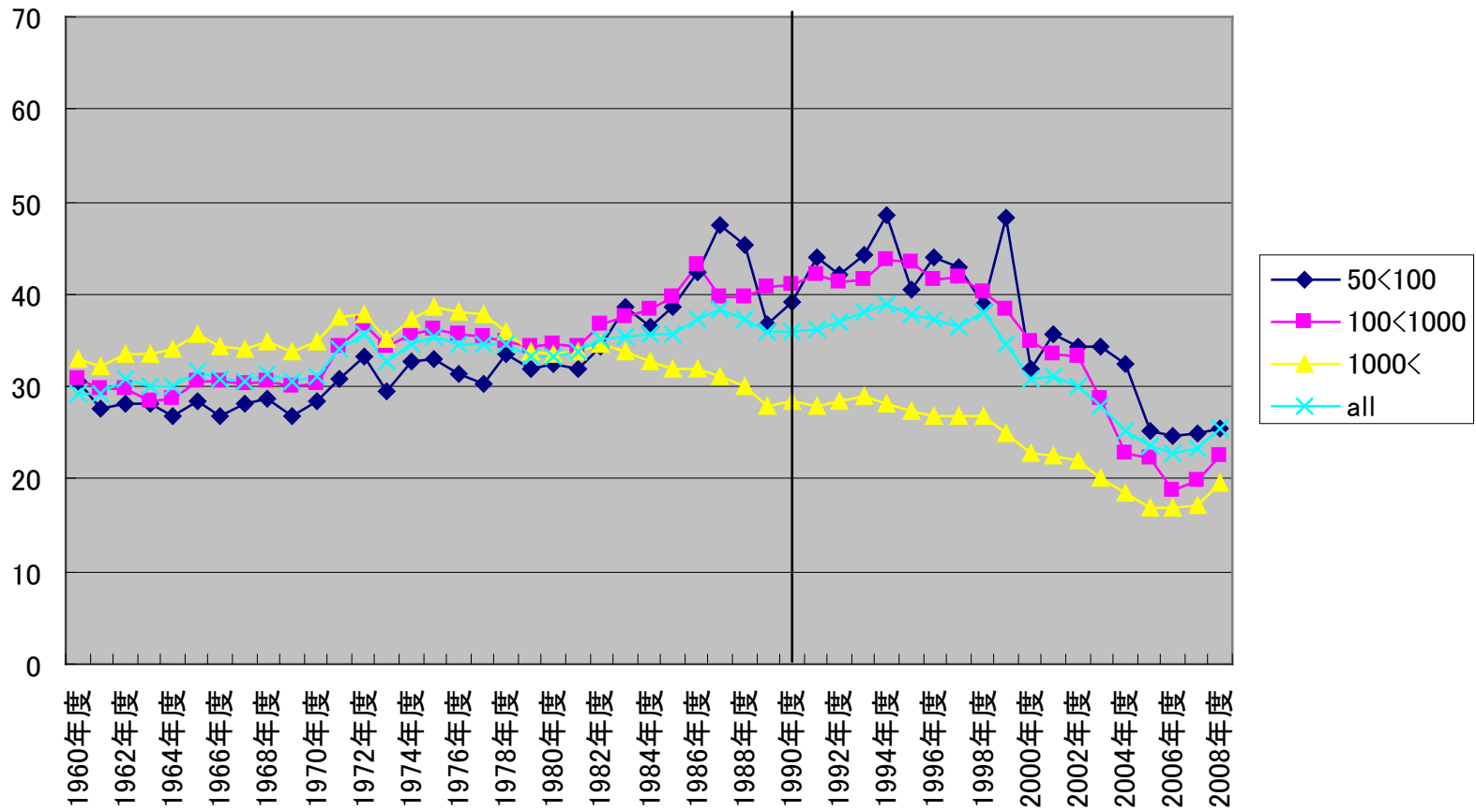


# 総借入金

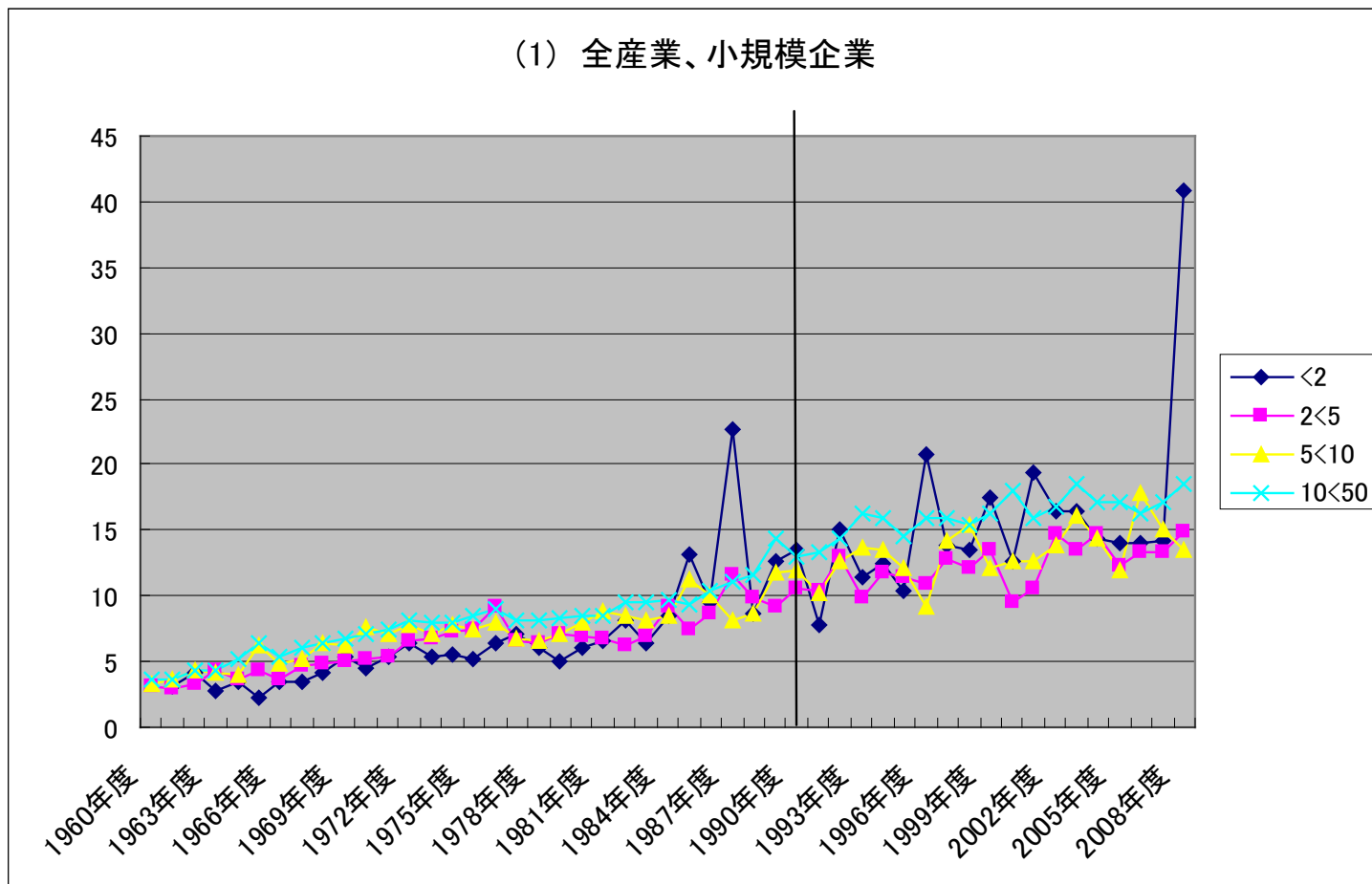
(1) 全産業、小規模企業



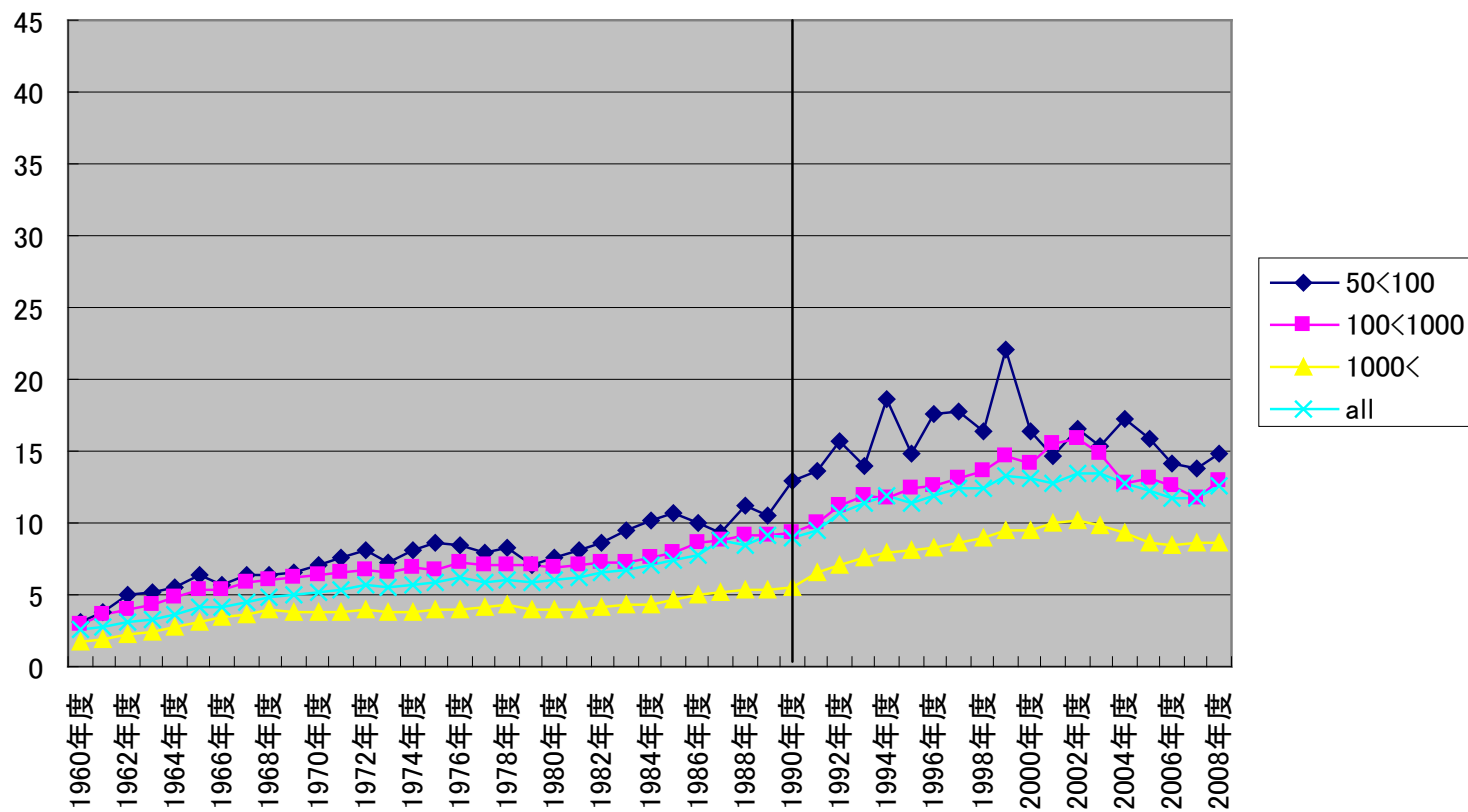
## (2) 全産業、大規模企業



# おまけ——土地／総資産

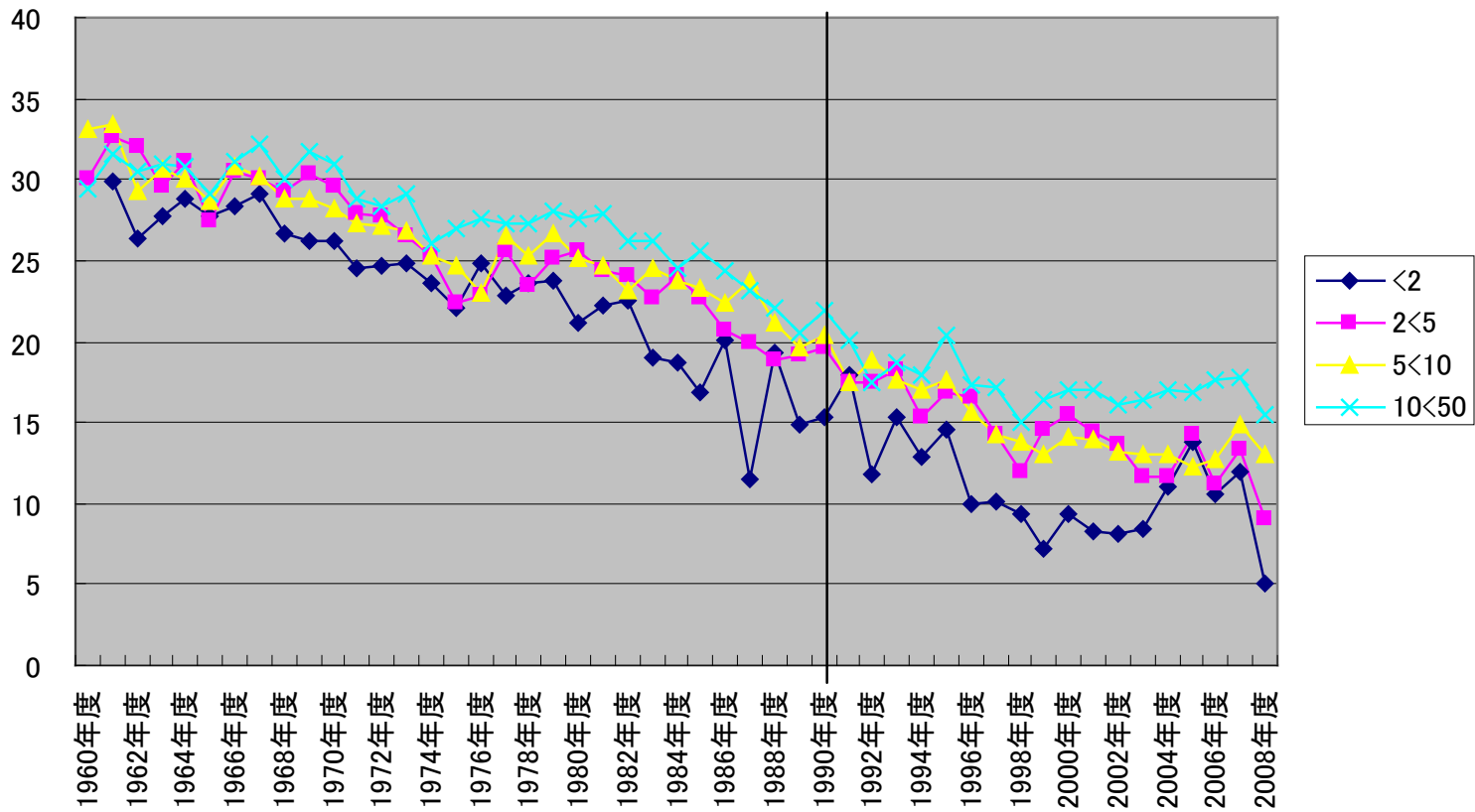


## (2) 全産業、大規模企業

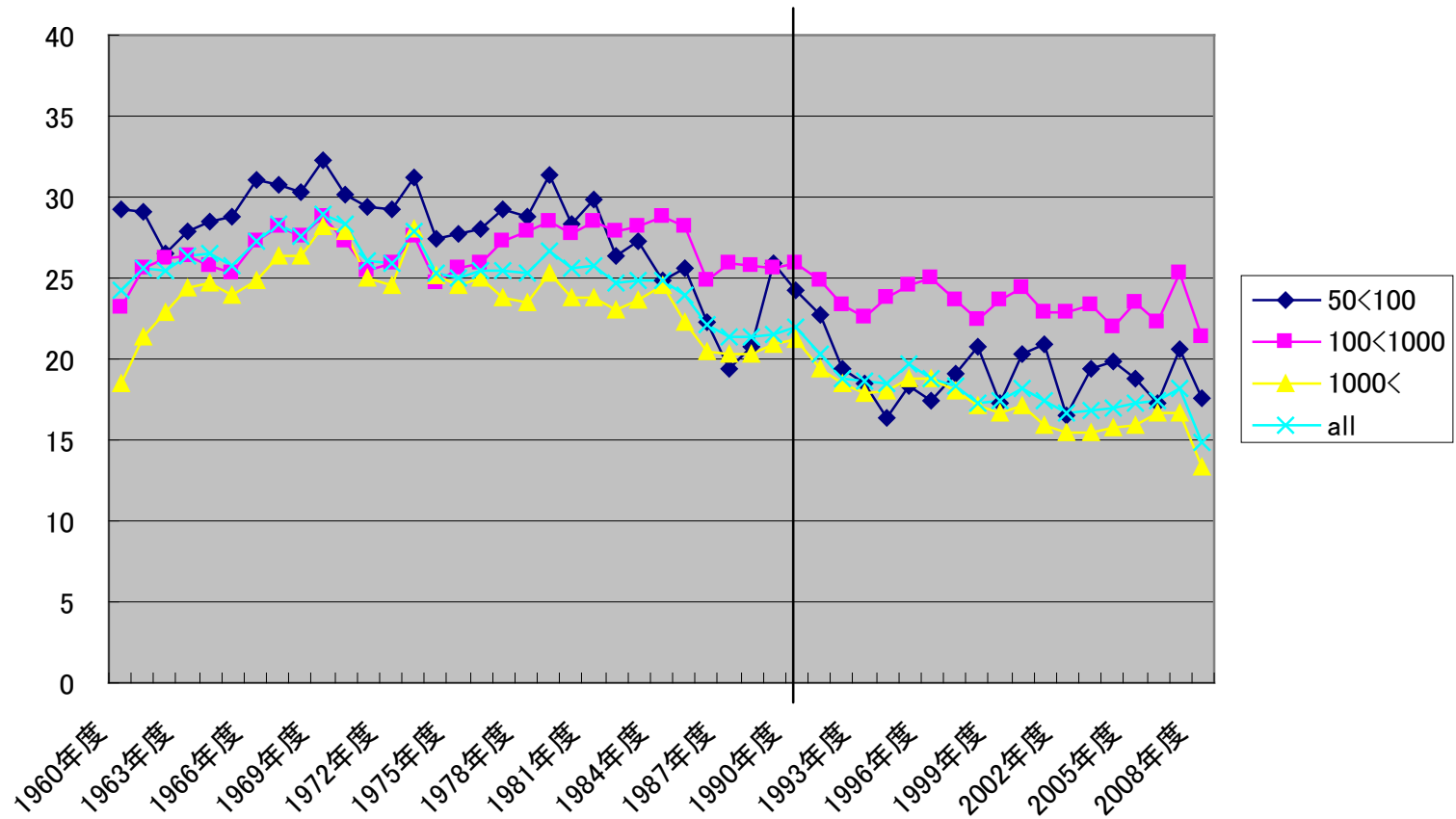


# 売掛金

(1) 全産業、小規模企業



## (2) 全産業、大規模企業

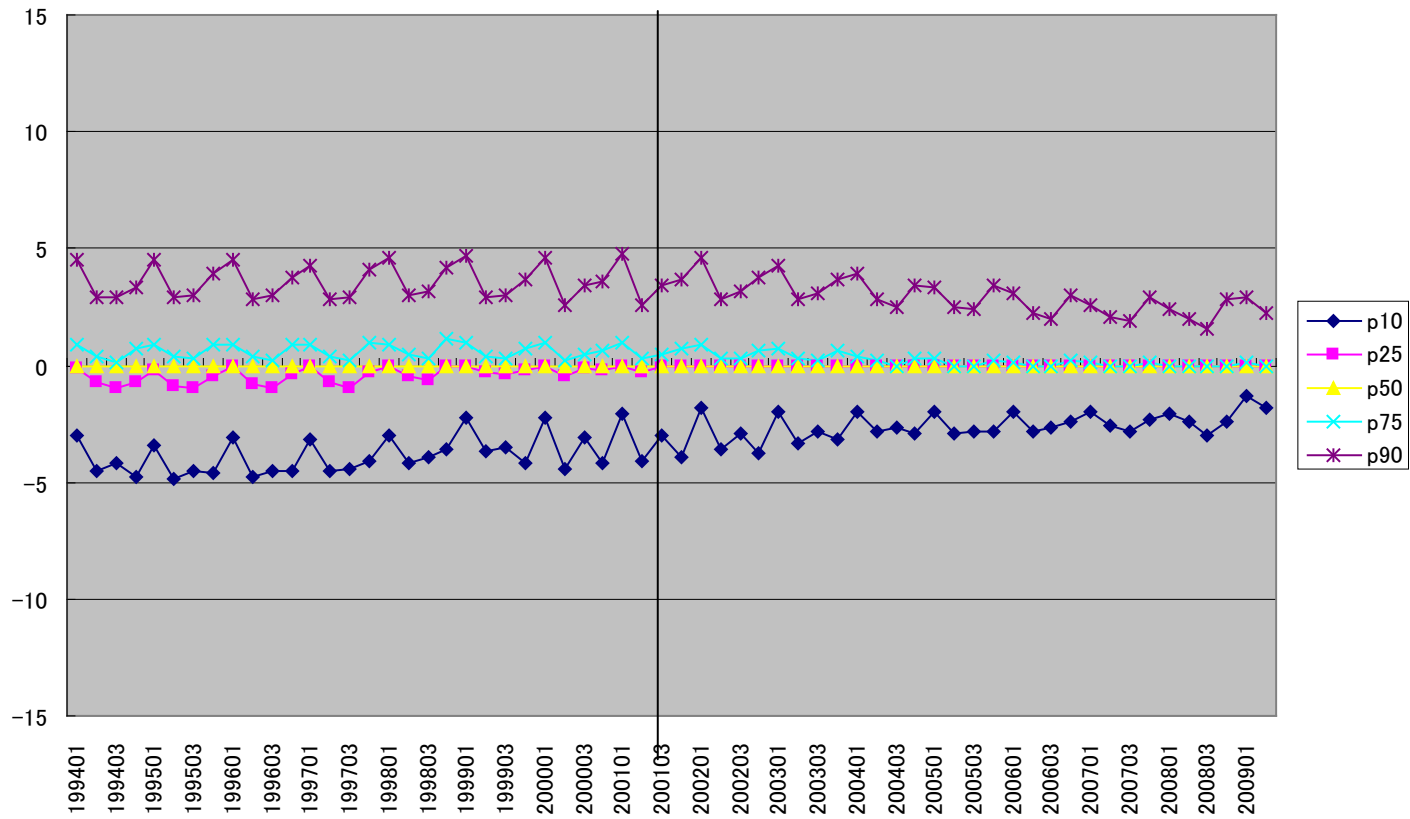




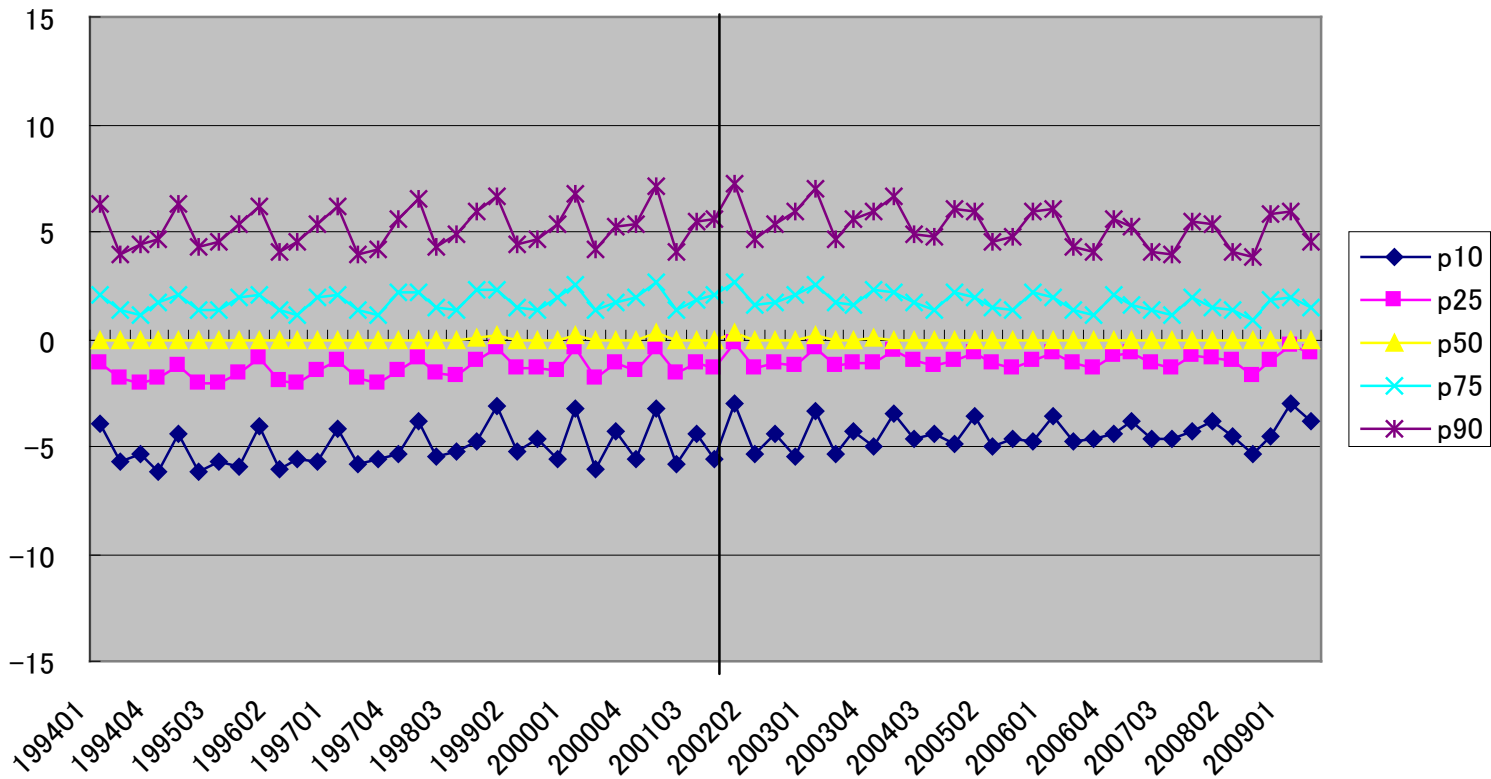
## 第2段階：今回のもの

- 短期借入金0の企業の比率が、(1)中小規模クラスほど高く、(2)その比率がとりわけ2000年以降上昇した。
- そういう企業のほとんどで、期首、期末の双方で残高が0——変化率の分布がつぶれる？
- 対応策？——分離？(1)期首の残高0の企業を除く、(2)変化が0の企業を除外する
- ここでは、前者を用いる。

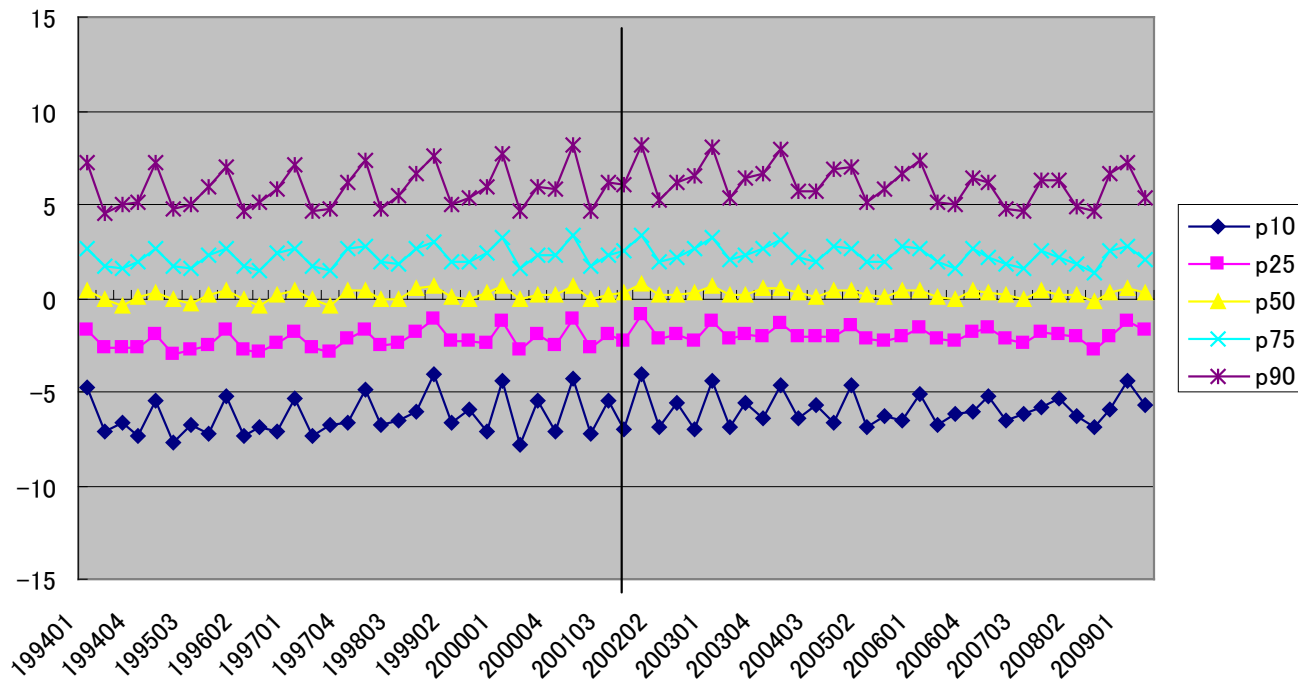
短期借入金構成比変化率の分布：  
四半期、全産業、全サンプル、縦線は200104



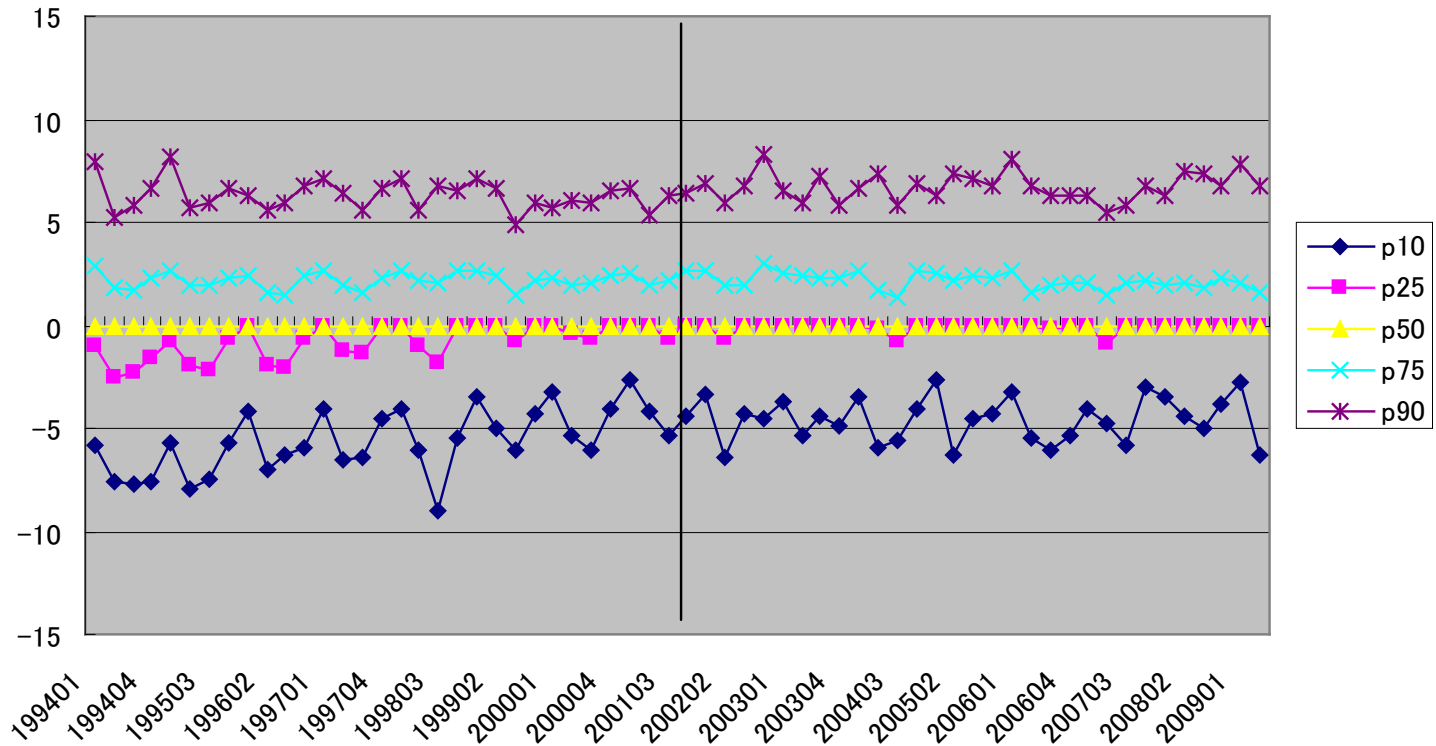
短期借入金構成比変化率の分布：  
 四半期、全産業、期首の残高が0のサンプルを除外、縦線は200104



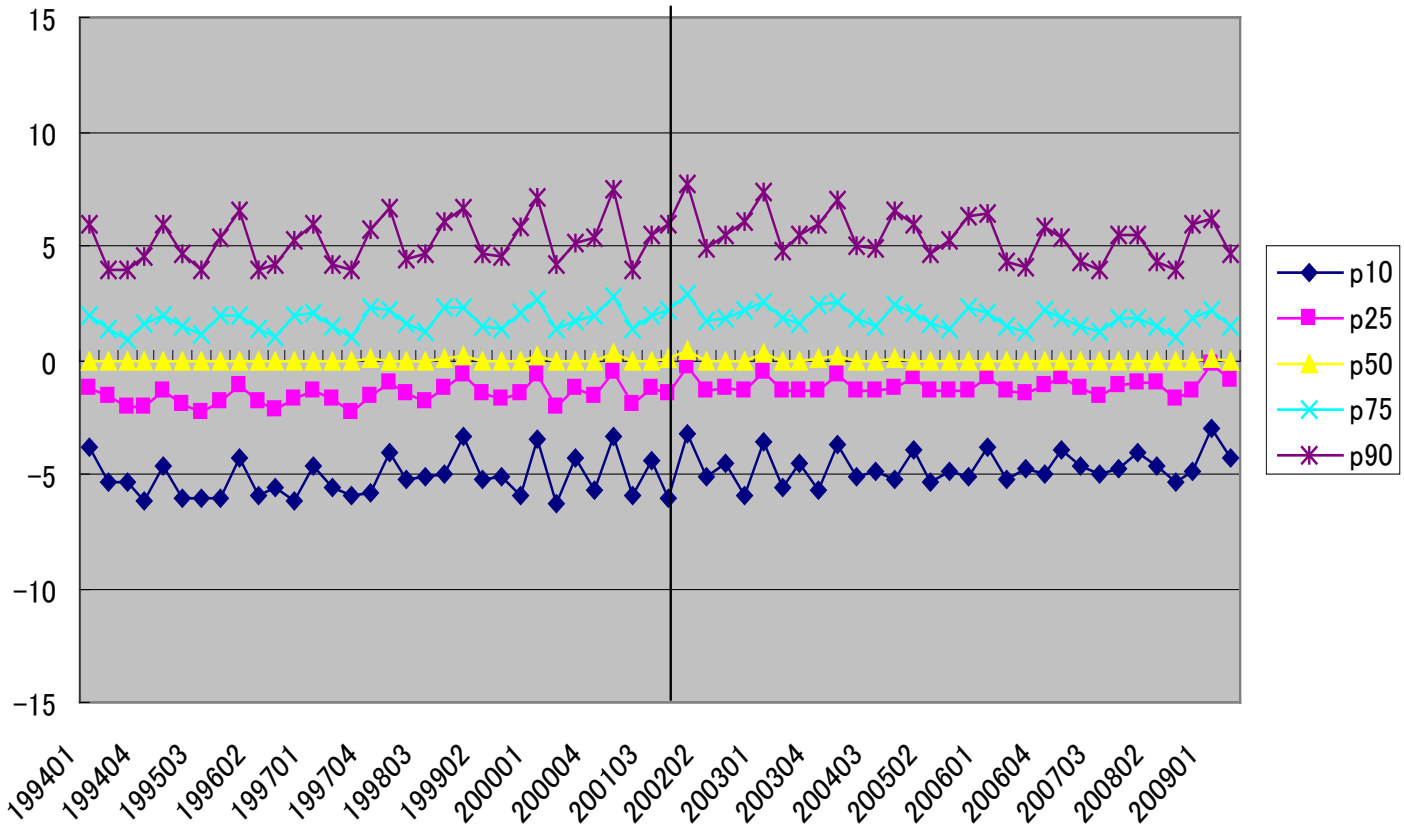
短期借入金構成比変化率の分布：  
 四半期、全産業、変化率が0のサンプルを除外、縦線は200104



短期借入金構成比変化率の分布：  
 四半期、 $v_4=5$ 、期首の残高が0のサンプルを除外、縦線は200104



短期借入金構成比変化率の分布：  
 四半期、 $v4=8$ 、期首の残高が0のサンプルを除外、縦線は200104



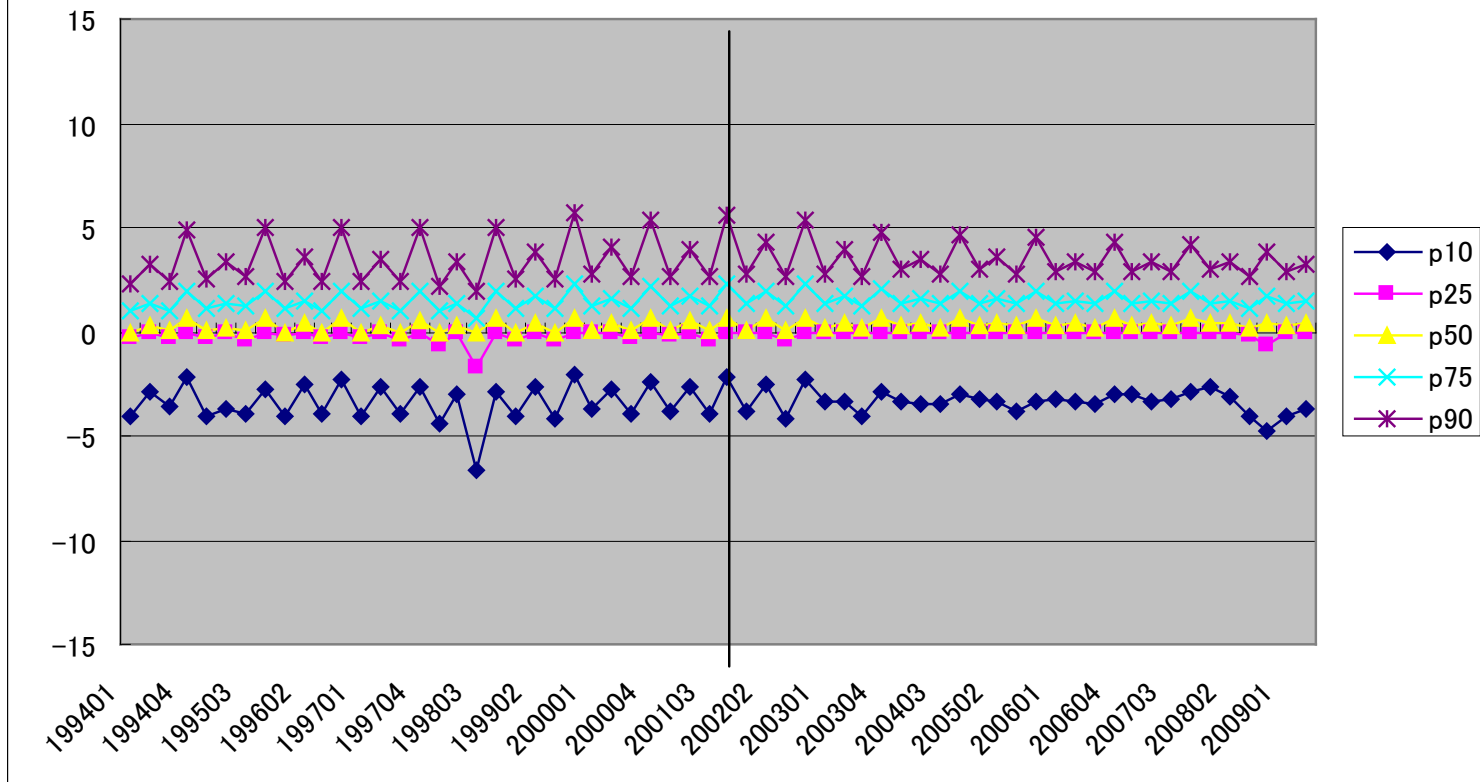
期首の残高が0のサンプルを除外

変化率が0のサンプルを除外

		p10	p25	p50	p75	p90	p10	p25	p50	p75	p90
v4=5	Average 1	-5.60	-0.80	0.00	2.20	6.32	-9.18	-3.07	0.71	3.34	8.21
	Average 2	-4.58	-0.09	0.00	2.16	6.74	-9.24	-2.93	0.92	3.94	9.33
	Average T	-5.10	-0.46	0.00	2.18	6.52	-9.21	-3.00	0.81	3.63	8.75
	Av.1 - Av.2	-1.02	-0.70	0.00	0.03	-0.42	0.06	-0.13	-0.22	-0.60	-1.11
v4=6	Average 1	-5.91	-1.45	0.09	2.10	6.36	-8.11	-2.90	0.25	2.82	7.36
	Average 2	-5.45	-1.00	0.04	2.18	6.64	-8.38	-2.97	0.47	3.16	7.89
	Average T	-5.69	-1.23	0.06	2.14	6.50	-8.24	-2.93	0.35	2.99	7.62
	Av.1 - Av.2	-0.46	-0.45	0.05	-0.08	-0.28	0.27	0.07	-0.22	-0.34	-0.54
v4=7	Average 1	-4.90	-1.42	0.05	1.67	4.90	-6.14	-2.28	0.15	2.13	5.61
	Average 2	-4.50	-0.95	0.04	1.84	5.44	-6.24	-2.12	0.38	2.52	6.43
	Average T	-4.71	-1.19	0.05	1.75	5.16	-6.19	-2.20	0.26	2.32	6.01
	Av.1 - Av.2	-0.40	-0.47	0.01	-0.17	-0.54	0.10	-0.15	-0.23	-0.39	-0.81
v4=8	Average 1	-5.18	-1.55	0.03	1.75	5.18	-6.32	-2.28	0.13	2.18	5.80
	Average 2	-4.65	-1.12	0.04	1.85	5.45	-6.01	-2.01	0.30	2.37	6.20
	Average T	-4.92	-1.34	0.04	1.80	5.31	-6.17	-2.15	0.21	2.27	5.99
	Av.1 - Av.2	-0.52	-0.43	-0.01	-0.10	-0.26	-0.31	-0.27	-0.18	-0.19	-0.40
v4=9	Average 1	-4.53	-1.36	0.02	1.53	4.62	-5.28	-1.88	0.08	1.82	5.02
	Average 2	-3.72	-0.87	0.03	1.42	4.31	-4.58	-1.50	0.14	1.79	4.86
	Average T	-4.14	-1.12	0.02	1.47	4.47	-4.94	-1.70	0.11	1.80	4.94
	Av.1 - Av.2	-0.81	-0.48	-0.01	0.11	0.30	-0.70	-0.38	-0.07	0.03	0.16

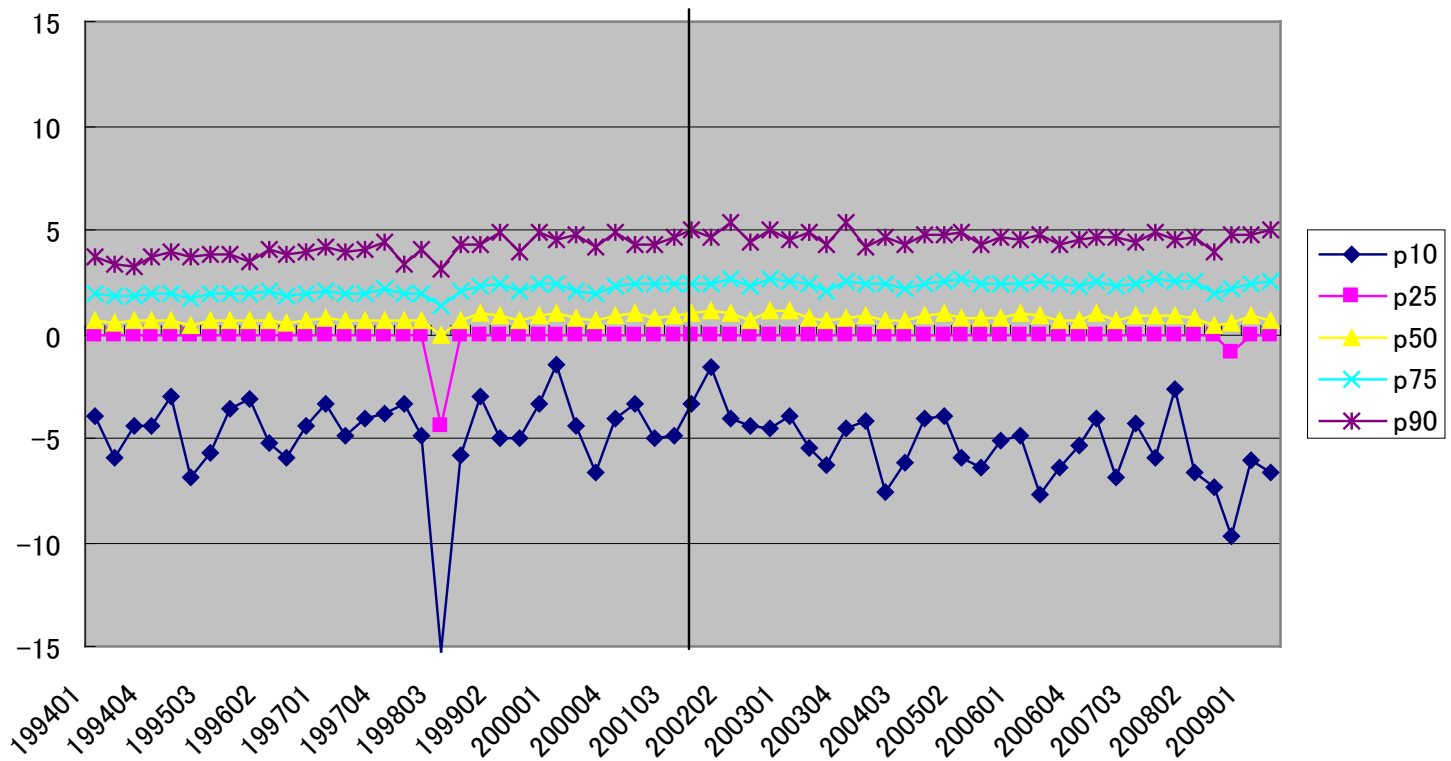
# 長期借入金

長期借入金構成比変化率の分布：  
四半期、全産業、期首の残高が0のサンプルを除外、縦線は200104

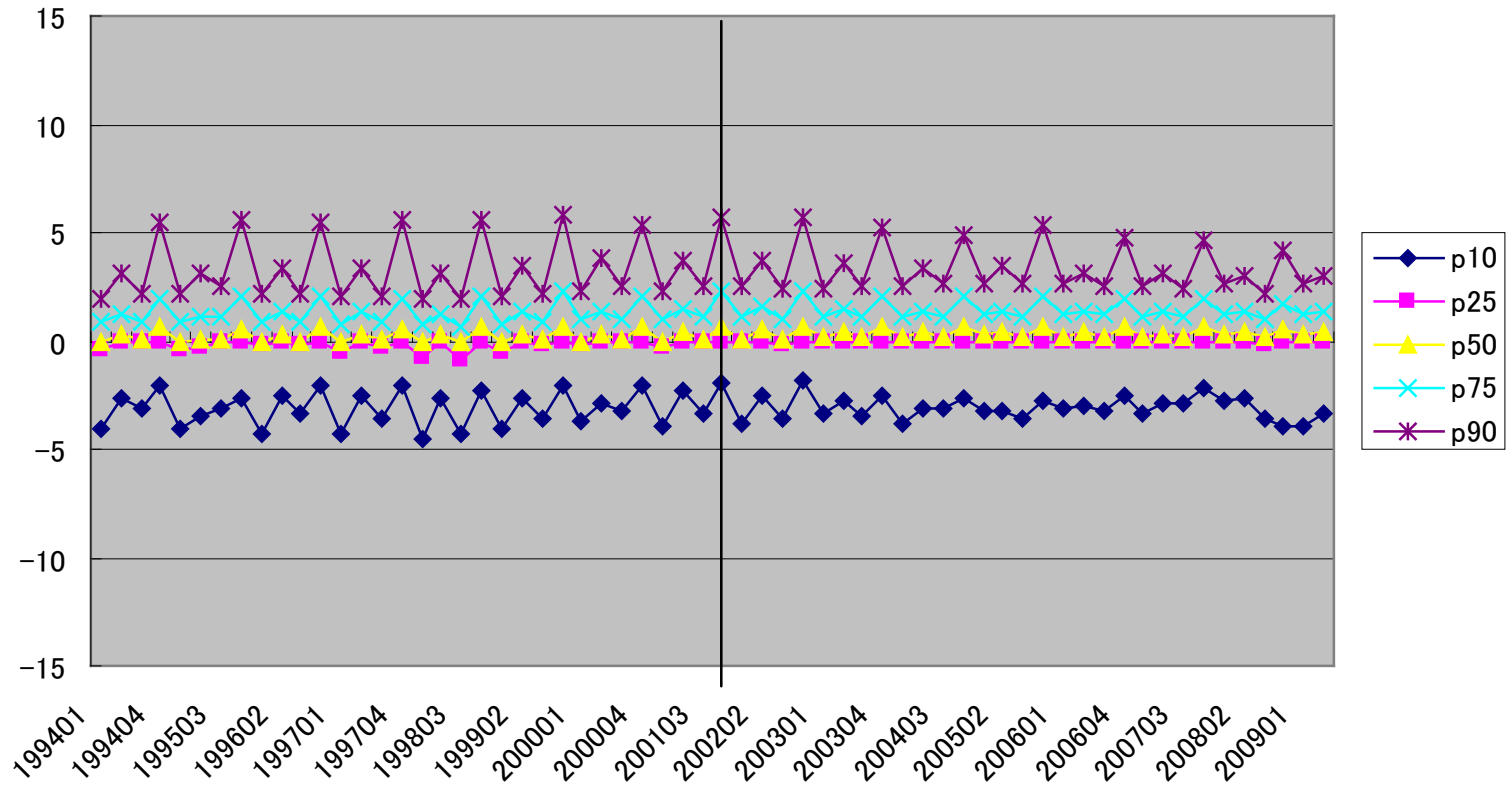




長期借入金構成比変化率の分布：  
 四半期、 $v4=5$ 、期首の残高が0のサンプルを除外、縦線は200104

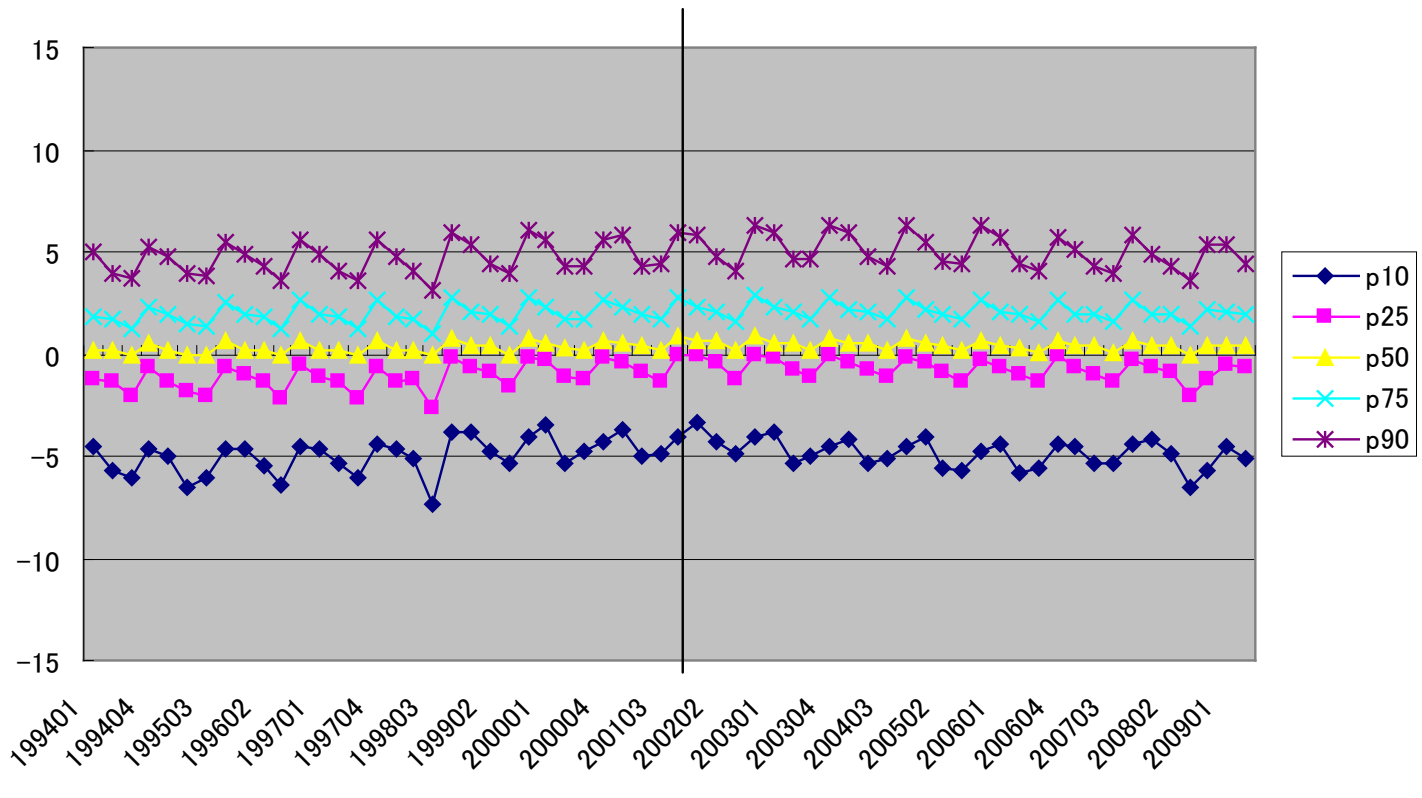


長期借入金構成比変化率の分布：  
 四半期、 $v_4=8$ 、期首の残高が0のサンプルを除外、縦線は200104

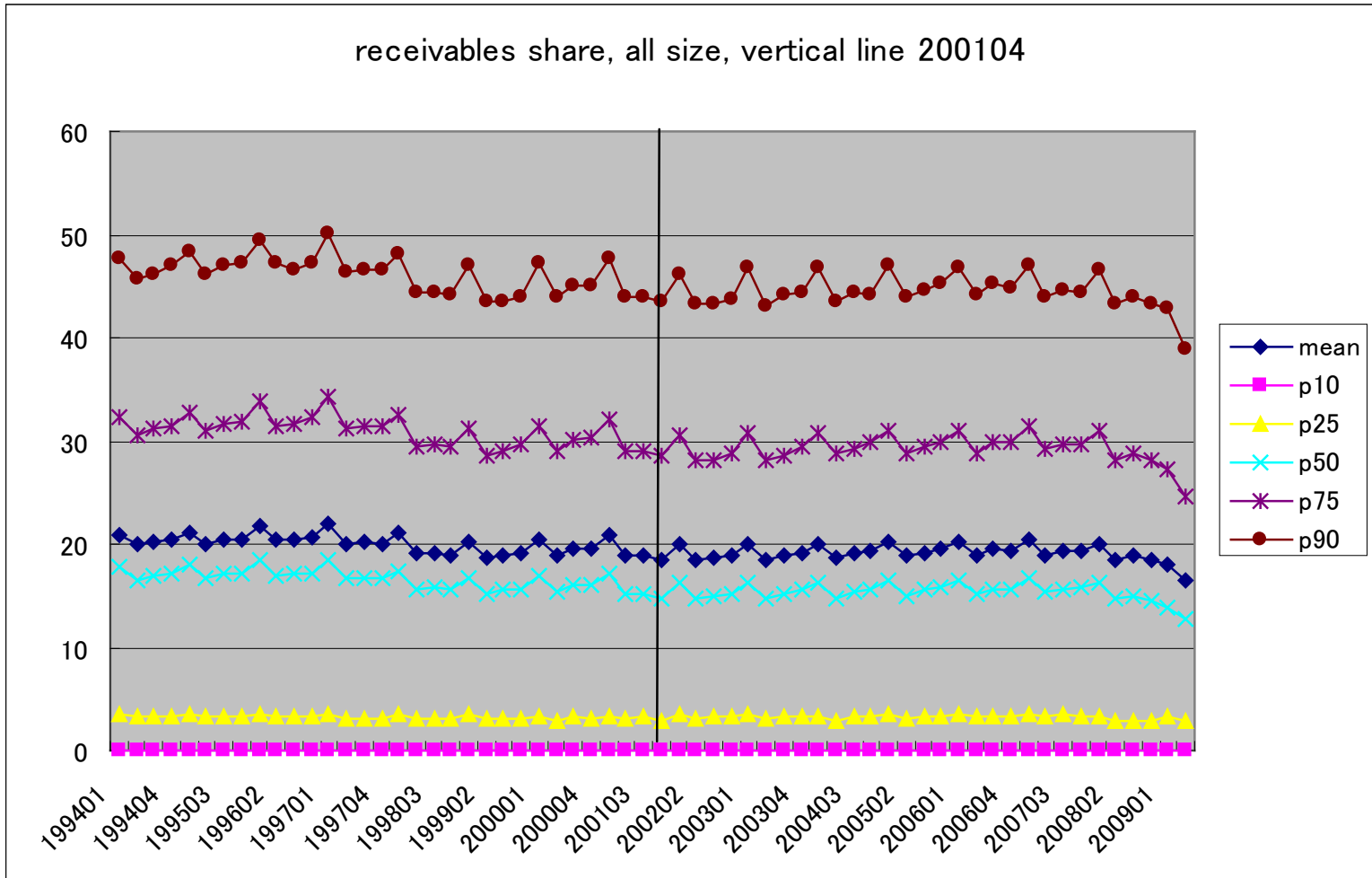


# 総借入金

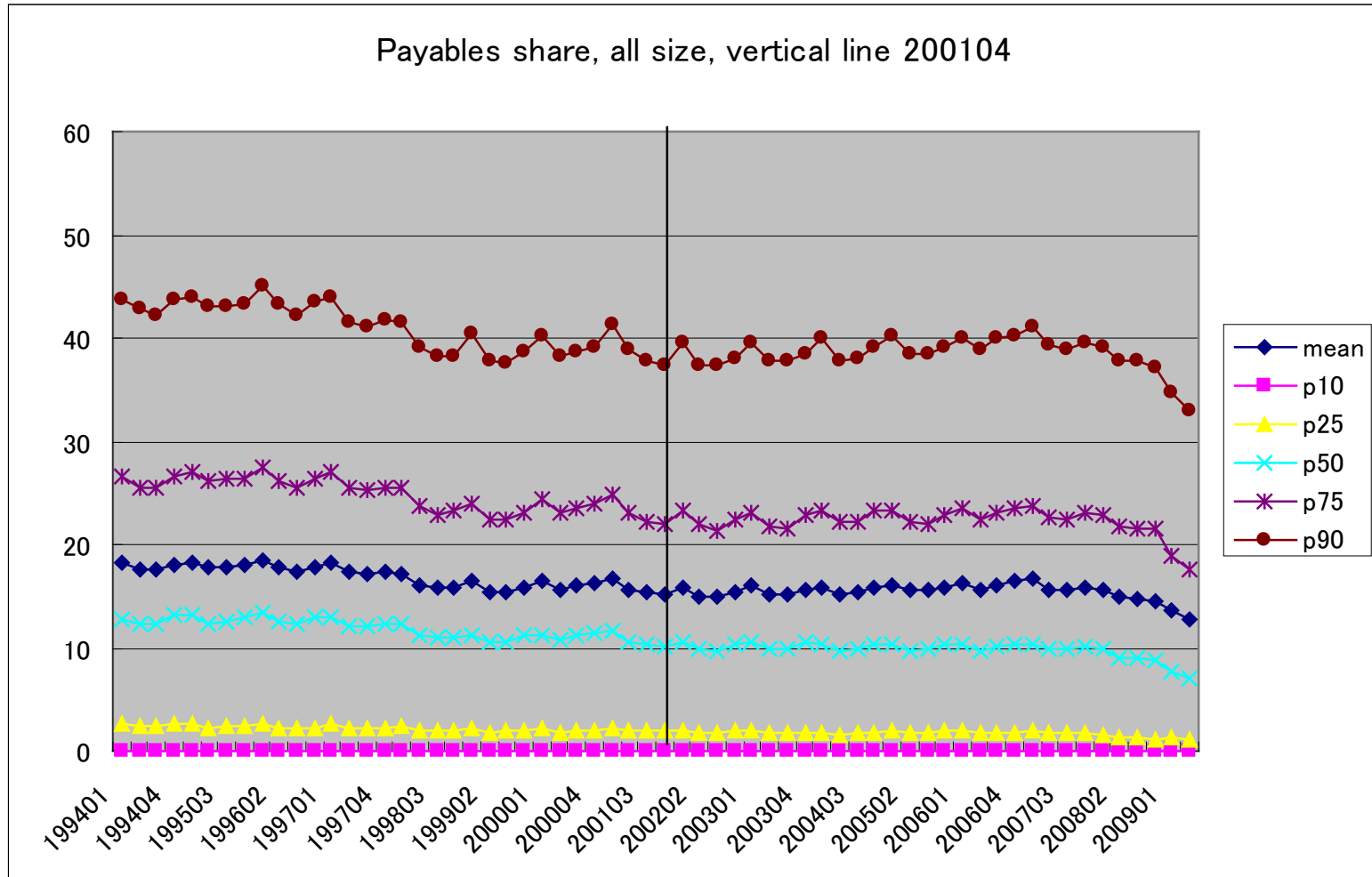
総借入金構成比変化率の分布：  
四半期、全産業、期首の残高が0のサンプルを除外、縦線は200104



# 壳掛金依存度



# 買掛金依存度



# 在庫依存度

